

平成29年度 全国学力・学習状況調査の結果について

全国学力・学習状況調査は、小学校第6学年と中学校第3学年を対象として平成19年度から実施されています。調査が開始された当初、網走市の平均正答率は、全国平均を10ポイント以上下回る教科がありましたが、全国との差は年々縮まっています。また、今年度は、一部の教科において全国平均を上回りました。

改善の傾向は見られていますが、学力・学習状況ともに課題が見られる状況にあることから、教育委員会、学校、家庭、地域が連携した取組を進め、網走市の子どもたちの力をより一層発揮させる必要があると受け止めています。

網走市教育委員会として、学力の課題やこれまでの取組の成果を学校、家庭、地域と共有するとともに、児童生徒一人一人が確かな学力を身に付けるための取組を充実させるため、網走市学力向上推進委員会とともに分析を行った市内小・中学校全体の調査結果について、今後の方策とともに公表いたします。

I. 調査の概要

1. 調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 実施日 平成29年4月18日（火）

3. 調査の対象学校と対象学年の児童生徒数【悉皆調査】

小学校 9校（網走小学校、中央小学校、西小学校、南小学校、潮見小学校、東小学校、白鳥台小学校、西が丘小学校、呼人小学校）

中学校 6校（第一中学校、第二中学校、第三中学校、第四中学校、第五中学校、呼人中学校）

児童生徒数 小学校第6学年 293名 中学校第3学年 291名

4. 調査の内容

①教科に関する調査（国語、算数・数学）

- ・主として「知識」に関する問題[国語A、算数A・数学A]
- ・主として「活用」に関する問題[国語B、算数B・数学B]

②生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

- ・児童生徒に対する調査
- ・学校に対する調査

2. 結果の概要

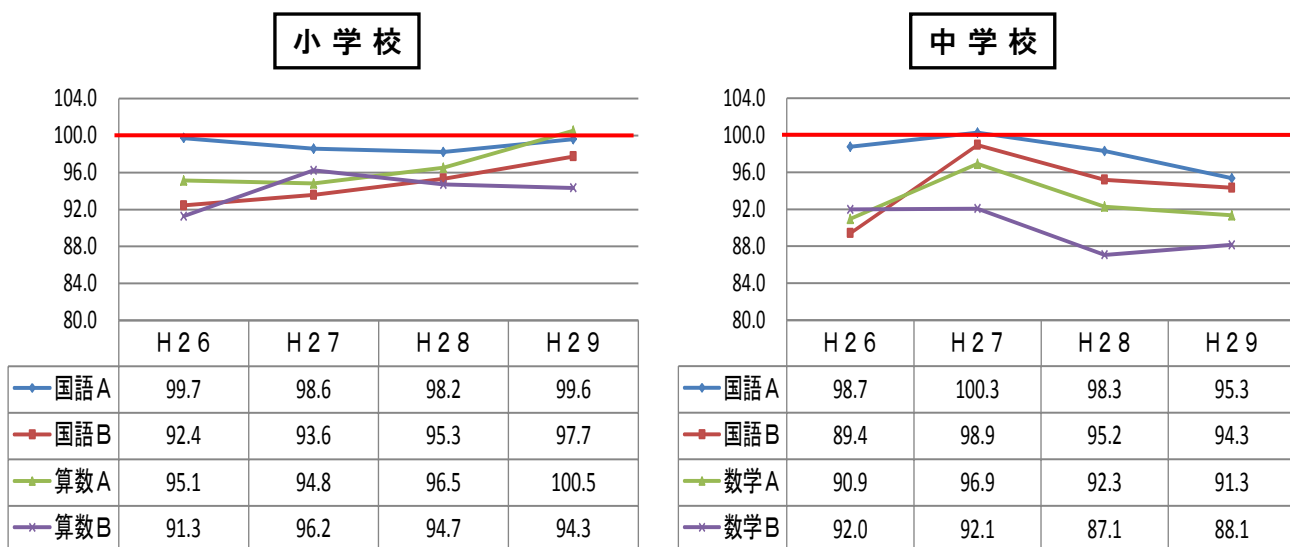
(1) 平成29年度 各教科の平均正答率・平均正答数

小学校	領 域	国語A	国語B	算数A	算数B
	問題数	15問	9問	15問	11問
平均 正答率 (%)	網走市	74.5	56.2	79.0	43.3
	北海道	73.7	56.3	77.3	43.5
	全国	74.8	57.5	78.6	45.9
	全道との差	0.8	-0.1	1.7	-0.2
	全国との差	-0.3	-1.3	0.4	-2.6
平均 正答数 (問)	網走市	11.2	5.1	11.8	4.8
	北海道	11.1	5.1	11.6	4.8
	全国	11.2	5.2	11.8	5.1
	全道との差	0.1	0	0.2	0
	全国との差	0	-0.1	0	-0.3

中学校	領 域	国語A	国語B	数学A	数学B
	問題数	32問	9問	36問	15問
平均 正答率 (%)	網走市	73.8	68.1	59.0	42.4
	北海道	76.7	71.7	63.7	46.9
	全国	77.4	72.2	64.6	48.1
	全道との差	-2.9	-3.6	-4.7	-4.5
	全国との差	-3.6	-4.1	-5.6	-5.7
平均 正答数 (問)	網走市	23.6	6.1	21.2	6.4
	北海道	24.5	6.5	22.9	7
	全国	24.8	6.5	23.3	7.2
	全道との差	-0.9	-0.4	-1.7	-0.6
	全国との差	-1.2	-0.4	-2.1	-0.8

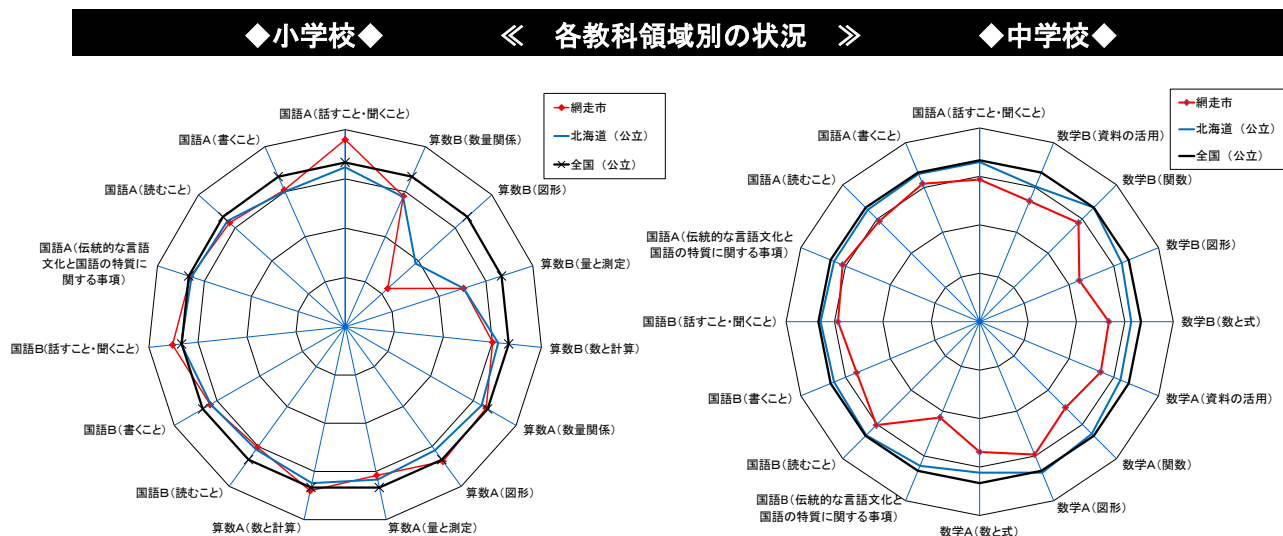
※平均正答率～各教科それぞれの平均正答数を設問数で割った値の百分率。

(2) 網走市と全国の平均正答率の差（平均正答率の推移）



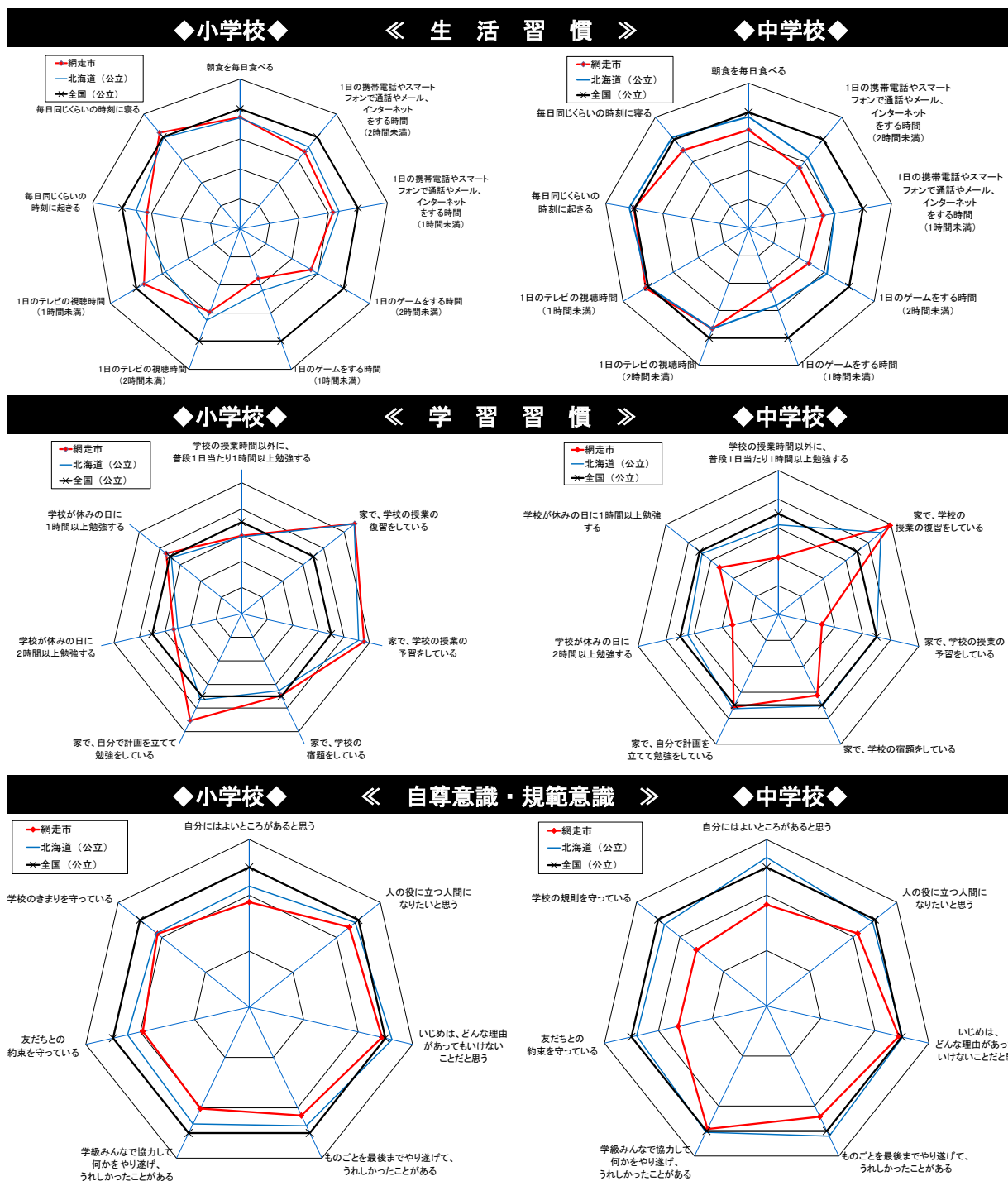
※調査問題は毎年異なり、平均正答率を年度間で比較することはできないため、全国平均を100とした時の網走市の正答率で比較。

(3) 各教科領域別の状況（レーダーチャート）



教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

(4) 児童生徒質問紙調査の状況（レーダーチャート）



【 児童生徒質問紙調査に見られる特徴 】

《生活習慣》

- ・「1日にゲームをする時間が2時間未満」「1日に携帯電話やスマートフォンをする時間が2時間未満」の児童生徒の割合が、全国に比べ少ない。
- ・「朝食を毎日食べている」児童生徒の割合が、全国に比べやや低い。

《学習習慣》

- ・「学校の授業時間以外に1時間以上勉強する」児童生徒の割合が、全国に比べ低い。
- ・「家で学校の授業の復習をする」児童生徒の割合が、全国に比べ高い。
- ・「家で自分で計画を立てて勉強する」児童生徒の割合が、全国に比べ高い。

《自尊意識・規範意識》

- ・「自分にはよいところがあると思う」児童生徒の割合が、全国に比べ低い。
- ・「学校のきまり（規則）を守っている」「友だちとの約束を守っている」児童生徒の割合が、全国に比べ低い。

3. 教科に関する調査

○ 小学校国語 A

分類	区分	問題数	平均正答率(%)		
			網走市	北海道（公立）	全国（公立）
全体		15	74.5	73.7	74.8
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	1	74.0	68.2	69.2
	書くこと	2	57.9	57.6	60.6
	読むこと	3	68.3	68.9	70.2
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	11	77.6	77.3	78.0
評価の観点	話す・聞く能力	1	74.0	68.2	69.2
	書く能力	2	57.9	57.6	60.6
	読む能力	3	68.3	68.9	70.2
	言語についての知識・理解・技能	11	77.6	77.3	78.0
問題形式	選択式	9	70.6	70.4	71.7
	短答式	6	80.3	78.7	79.4

○学習指導要領の領域別（4領域から出題）では、「話すこと・聞くこと」が全国を上回り、「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」が全国を下回っている。
○問題形式別では、「短答式」が全国を上回り、「選択式」が全国を下回っている。

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	評価の観点			問題形式			正答率（％）				無解答率（％）				
			国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	網走市	全国との比較	北海道（公立）	全国（公立）	網走市	北海道（公立）	全国（公立）
正答率が高かった問題（上位３問）																	
7 (３)	漢字を読む（申しこみ期限）	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む					○		○		96.9	2.4	95.4	94.5	1.4	2.4	3.0
7 (６)	漢字を読む（指示）	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む					○		○		95.2	0.7	95.0	94.5	1.4	2.4	2.9
５ア	ことわざの使い方の例として適切なものを選択する（三度目の正直）	ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いる					○	○			88.0	-2.0	89.8	90.0	0.3	0.7	0.8
正答率が低かった問題（下位３問）																	
４二	グループの話し合いを通して見付けた俳句のよさとして適切なものを選択する	俳句の情景を捉える				○	○	○			56.8	-0.2	56.0	57.0	0.3	0.7	0.7
7 (１)	漢字を書く（参加たいしょう）	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く					○		○		39.4	-2.6	39.1	42.0	8.6	12.7	10.6
２二	手紙の後付けに必要な、日付、署名、宛て名のそれぞれの位置について、適切なものを選択する	手紙の構成を理解し、後付けを書く			○			○			34.9	-6.6	36.2	41.5	0.0	0.2	0.3

【問題別結果の概要】

正答率が全国平均を上回った問題は15問中6問

《○概ねできている▲改善を要する》

○学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む

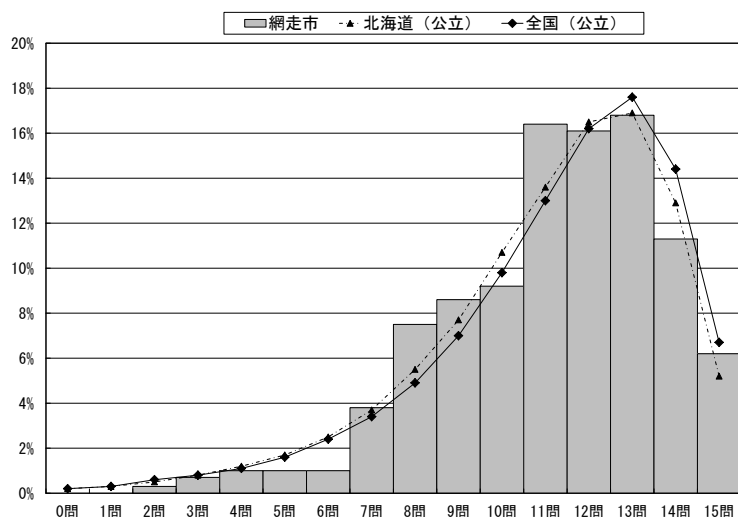
○ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いる

○目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書く

▲手紙の構成を理解し、後付けを書く

▲俳句の情景を捉える

【正答数分布グラフ(横軸:正答数,縦軸:割合)】



○ 小学校国語B

分類	区分	問題数	平均正答率(%)		
			網走市	北海道(公立)	全国(公立)
	全体	9	56.2	56.3	57.5
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	66.7	65.0	64.9
	書くこと	5	52.0	51.9	53.4
	読むこと	3	46.9	47.3	49.2
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	3	42.5	40.8	41.7
	話す・聞く能力	3	66.7	65.0	64.9
	書く能力	5	52.0	51.9	53.4
	読む能力	3	46.9	47.3	49.2
問題形式	選択式	5	61.5	63.0	64.6
	短答式	1	70.9	69.1	69.2
	記述式	3	42.5	40.8	41.7

○学習指導要領の領域別(4領域中3領域から出題)では、「話すこと・聞くこと」が全国を上回り、「書くこと」「読むこと」が全国を下回っている。

○問題形式別では、「短答式」「記述式」が全国を上回り、「選択式」が全国を下回っている。

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	評価の観点				問題形式			正答率(%)				無解答率(%)			
			国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	網走市	全国との比較	北海道(公立)	全国(公立)	網走市	北海道(公立)	全国(公立)
正答率が高かった問題(上位3問)																	
一	スピーチの練習の様子を記録した動画を見る目的として、適切なものを選択する	動画を見る目的を捉えることを通して、目的や意図に応じ、適切な言葉遣いで話す		○				○			75.3	-1.9	77.9	77.2	0.3	0.4	0.5
三	「きつねの写真」を読み、登場人物の相互関係と場面についての描写を捉え、[A]に当てはまる言葉として適切なものを選択する	登場人物の相互関係や心情、場面についての描写を捉える				○		○			74.0	-1.9	72.8	75.9	1.4	2.7	2.6
一二	グループの話し合いの中で、石田さんたちは、スピーチメモを使うことのよさについてどのよう考えているかについて書く	話の構成を工夫して話すことができるなどのスピーチメモのよさを捉える		○					○		70.9	1.7	69.1	69.2	4.5	4.3	3.8
正答率が低かった問題(下位3問)																	
三三	「きつねの写真」から取り上げた言葉や文を基に、松ぞういさんと吉がきつねだと考えたわけをまとめて書く	物語を読み、具体的な叙述を基に理由を明確にして、自分の考えをまとめる	○		○	○				○	41.1	-2.6	41.6	43.7	24.0	23.0	19.4
二三	「水やりに協力してくれる人をばら集めます」の[イ]に入る内容を、中学生からの【アドバイス】を基に書く	目的や意図に応じ、必要な内容を整理して書く	○		○					○	32.5	-0.5	32.8	33.0	2.1	3.3	2.8
三二	「きつねの写真」を読んだあとの話し合いにおけるア・イの発言の意図として、適切なものをそれぞれ選択する	自分の考えを広げたり深めたりするための発言の意図を捉える				○		○			25.7	-2.3	27.7	28.0	3.1	3.4	3.2

【問題別結果の概要】

正答率が全国平均を上回った問題は9問中2問

《○概ねできている▲改善を要する》

○動画を見る目的を捉えることを通して、目的や意図に応じ、適切な言葉遣いで話す

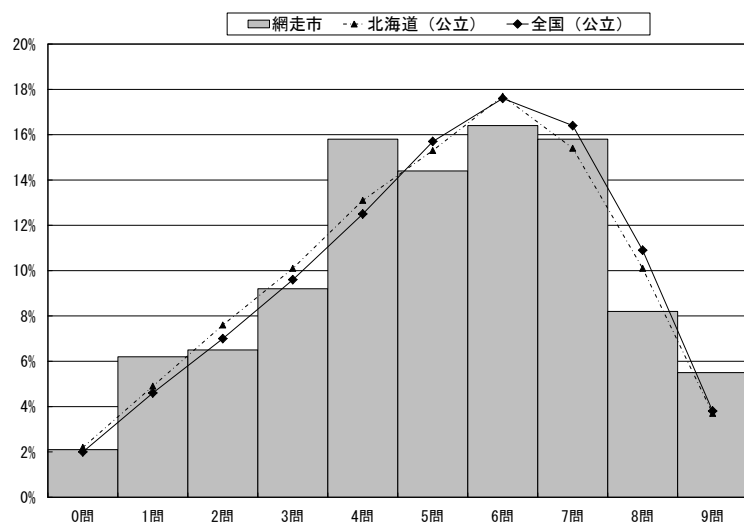
○登場人物の相互関係や心情、場面についての描写を捉える

○話の構成を工夫して話すことができるなどのスピーチメモのよさを捉える

▲自分の考えを広げたり深めたりするための発言の意図を捉える

▲目的や意図に応じ、必要な内容を整理して書く

【正答数分布グラフ(横軸:正答数,縦軸:割合)】



○ 小学校算数A

分類	区分	問題数	平均正答率(%)		
			網走市	北海道（公立）	全国（公立）
全体		15	79.0	77.3	78.6
学習指導要領の領域	数と計算	8	81.4	79.5	80.6
	量と測定	2	66.2	67.1	68.8
	図形	2	81.6	78.2	81.1
	数量関係	5	79.2	77.9	79.6
評価の観点	数量や図形についての技能	8	78.4	76.3	77.7
	数量や図形についての知識・理解	7	79.6	78.4	79.7
問題形式	選択式	7	79.8	79.0	79.6
	短答式	8	78.2	75.7	77.8

○学習指導要領の領域別（4領域から出題）では、「数と計算」「図形」が全国を上回り、「量と測定」「数量関係」が全国を下回っている。

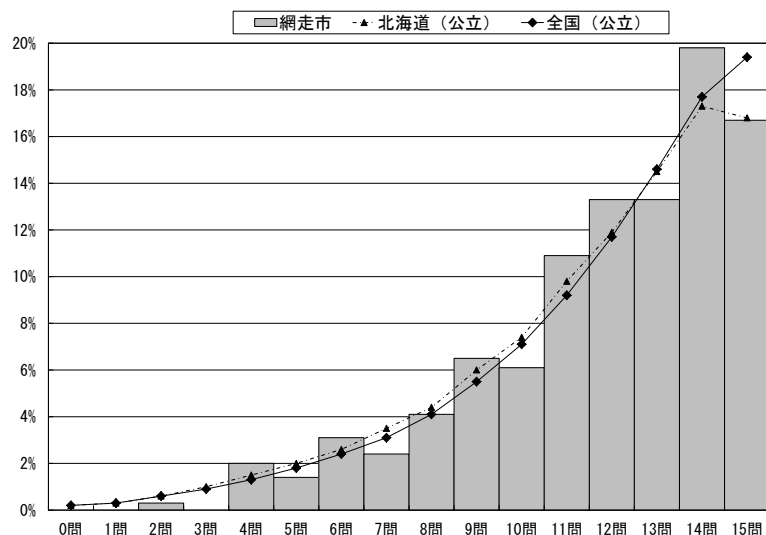
○問題形式別では、「選択式」「短答式」ともに全国を上回っている。

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	評価の観点			問題形式			正答率(%)				無解答率(%)		
			算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての知識・理解	選択式	短答式	記述式	網走市	全国との比較	北海道（公立）	全国（公立）	網走市	北海道（公立）	全国（公立）
正答率が高かった問題（上位3問）															
1（1）	リボンを2m買ったときの代金と3m買ったときの代金を書く	具体的な問題場面において、乗法で表すことができる二つの数量の関係を理解している			○		○		98.6	1.7	96.9	96.9	0.0	0.5	0.4
9（1）	出席番号1番の人は二次元表のどこに入るかを選ぶ	資料を二次元表に分類整理することができる		○			○		91.8	3.8	88.2	88.0	1.7	2.6	2.6
1（3）	60×0.4を、60×4を基にして考えるときの、正しい積の求め方を選ぶ	小数の乗法の計算において、乗数を整数に置き換えて考えるときの、乗法の性質を理解している			○	○			89.8	-1.2	89.8	91.0	0.3	0.7	0.7
正答率が低かった問題（下位3問）															
4	重さ、長さについて任意単位による測定を基に比較しているものを選ぶ	任意単位による測定について理解している			○	○			65.5	-5.2	68.8	70.7	1.0	0.6	0.6
9（2）	二次元表の合計欄に入る数を書く	資料から、二次元表の合計欄に入る数を求めることができる		○			○		62.1	-0.7	60.9	62.8	3.1	5.3	5.1
2（3）	6+0.5×2を計算する	加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることができる		○			○		60.1	-6.5	60.0	66.6	0.0	0.6	0.6

【問題別結果の概要】

正答率が全国平均を上回った問題は15問中9問
《○概ねできている▲改善を要する》
○具体的な問題場面において、乗法で表すことができる二つの数量の関係を理解している
○資料を二次元表に分類整理することができる
○整数の乗法の計算をすることができる
▲加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることができる
▲任意単位による測定について理解している

【正答数分布グラフ(横軸:正答数,縦軸:割合)】



○ 小学校算数B

分類	区分	問題数	平均正答率(%)		
			網走市	北海道（公立）	全国（公立）
	全体	11	43.3	43.5	45.9
学習指導要領の領域	数と計算	5	50.2	51.1	52.8
	量と測定	2	41.3	41.3	47.0
	図形	1	8.9	10.4	13.2
	数量関係	8	37.4	37.3	40.0
評価の観点	数学的な考え方	9	42.4	42.9	45.4
	数量や図形についての知識・理解	2	47.3	46.4	48.6
問題形式	選択式	3	53.7	52.4	54.1
	短答式	3	59.0	60.0	61.7
	記述式	5	27.6	28.3	31.6

○学習指導要領の領域別(4領域から出題)では、全領域で全国を下回っている。

○問題形式別では、「選択式」「短答式」「記述式」ともに全国を下回っている。

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	評価の観点			問題形式			正答率(%)				無解答率(%)		
			算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての知識・理解	選択式	短答式	記述式	網走市	全国との比較	北海道(公立)	全国(公立)	網走市	北海道(公立)	全国(公立)
正答率が高かった問題(上位3問)															
1 (1)	カードの差が4の場合の、2けたのひき算の式と答えを書く	示された条件を基に、適切な式を立てることができる	○			○			77.1	1.1	75.6	76.0	1.0	2.1	2.0
1 (2)	示された考えを基に、54－45の場合で残る部分を図に表す	示された考えを解釈し、数を変更した場合も同じ関係が成り立つことを、図に表現することができる	○			○			76.8	-5.0	79.4	81.8	2.7	4.9	3.9
5 (1)	「最小の満月の直径」の図に対して、「最大の満月の直径」の割合を正しく表している図を選ぶ	示された割合を解釈して、基準量と比較量の関係を表している図を判断できる	○			○			66.6	1.6	64.4	65.0	6.1	6.5	5.5
正答率が低かった問題(下位3問)															
2 (2)	13本の直線を使う場合、手紙の用紙の長い辺を3等分するのは、何本目の直線と交わった点かを書く	直線の数とその間の数の関係に着目して、示された方法を問題場面に適用することができる	○			○			23.2	-4.2	25.0	27.4	9.9	6.6	6.0
3 (2)	仮の平均の考えを活用して、測定値の平均を求める	仮の平均を用いた考えを解釈し、示された数値を基準とした場合の平均の求め方を記述できる	○			○			16.4	-9.7	18.4	26.1	17.4	15.9	12.7
5 (2)	与えられた情報から、基準量、比較量、割合の関係を捉え、「最大の満月の直径」に近い硬貨を選び、選んだわけを書く	身近なものに置き換えた基準量と割合を基に、比較量を判断し、その判断の理由を記述できる	○			○			8.9	-4.3	10.4	13.2	6.8	10.7	8.7

【問題別結果の概要】

正答率が全国平均を上回った問題は11問中2問

《○概ねできている▲改善を要する》

○示された条件を基に、適切な式を立てることができる

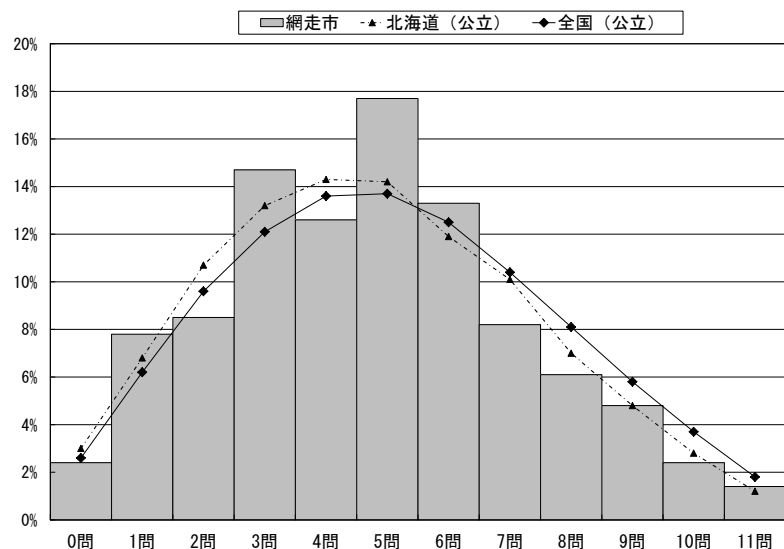
○示された割合を解釈して、基準量と比較量の関係を表している図を判断できる

▲身近なものに置き換えた基準量と割合を基に、比較量を判断し、その判断の理由を記述できる

▲仮の平均を用いた考えを解釈し、示された数値を基準とした場合の平均の求め方を記述できる

▲直線の数とその間の数の関係に着目して、示された方法を問題場面に適用することができる

【正答数分布グラフ(横軸:正答数,縦軸:割合)】



○ 中学校国語A

分類	区分	問題数	平均正答率(%)		
			網走市	北海道(公立)	全国(公立)
	全体	32	73.8	76.7	77.4
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	4	70.9	75.0	75.4
	書くこと	4	82.5	85.3	85.7
	読むこと	6	69.4	73.1	73.8
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	18	74.1	76.3	77.2
評価の観点	話す・聞く能力	4	70.9	75.0	75.4
	書く能力	4	82.5	85.3	85.7
	読む能力	6	69.4	73.1	73.8
	言語についての知識・理解・技能	18	74.1	76.3	77.2
問題形式	選択式	22	74.6	78.1	78.5
	短答式	10	72.1	73.5	75.1

○学習指導要領の領域別(4領域から出題)では、全領域で全国を下回っている。

○問題形式別では、「選択式」「短答式」とともに全国を下回っている。

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	評価の観点				問題形式			正答率(%)				無解答率(%)			
			国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	網走市	全国との比較	北海道(公立)	全国(公立)	網走市	北海道(公立)	全国(公立)
正答率が高かった問題(上位3問)																	
9二1	漢字を読む(覚悟を決める)	文脈に即して漢字を正しく読む					○		○		99.3	0.6	99.2	98.7	0.7	0.5	0.9
9三エ	適切な語句を選択する(私は映画が大好きです。ただし、映画なら何でも見るわけではありません)	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う					○	○			96.9	1.4	95.7	95.5	0.0	0.4	0.6
9二3	漢字を読む(水が垂れる)	文脈に即して漢字を正しく読む					○		○		94.8	0.5	95.1	94.3	0.3	0.7	1.1
正答率が低かった問題(下位3問)																	
9六1	楷書と比較したときの行書の説明として適切なものを選択する	楷書と行書との違いを理解する					○	○			48.5	-1.1	53.0	49.6	1.4	0.8	1.0
9三イ	適切な語句を選択する(よい結果を早く出したいときは、急がば回れといわれるように、かえって慎重に議論を進めるべきだ)	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う					○	○			47.1	-14.3	59.1	61.4	0.3	0.6	0.7
9五	話合いの記録として適切な言葉を考える	事象や行為などを表す多様な語句について理解する					○		○		35.7	-0.1	36.5	35.8	15.1	13.4	13.1

【問題別結果の概要】

正答率が全国平均を上回った問題は32問中5問

《○概ねできている▲改善を要する》

○文脈に即して漢字を正しく読む

○助詞の働きについて理解する

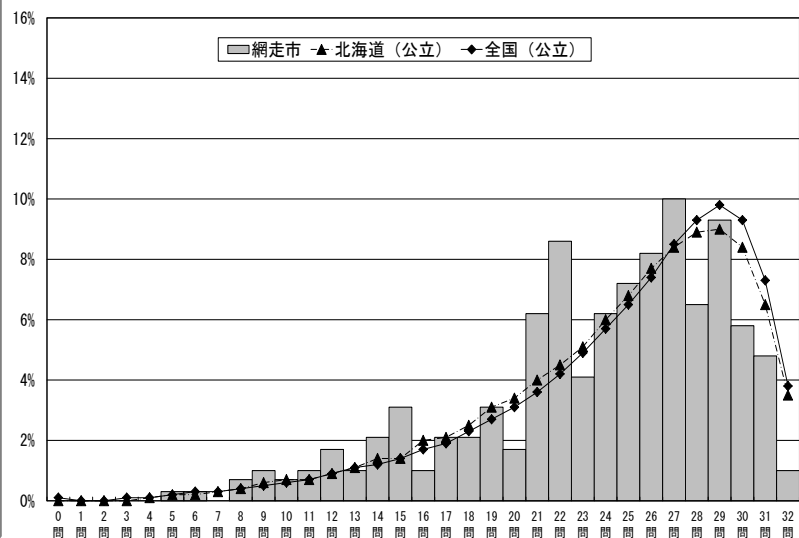
▲語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う

▲事象や行為などを表す多様な語句について理解する

▲文脈に即して漢字を正しく書く

▲古文と現代語訳とを対応させて内容を捉える

【正答数分布グラフ(横軸:正答数,縦軸:割合)】



○ 中学校国語B

分類	区分	問題数	平均正答率(%)		
			網走市	北海道(公立)	全国(公立)
学習指導要領の領域等	全体	9	68.1	71.7	72.2
	話すこと・聞くこと	3	68.0	71.9	72.4
	書くこと	4	55.5	60.1	60.8
	読むこと	4	68.7	71.9	72.1
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	1	34.0	40.7	41.4
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	3	49.6	55.2	55.9
	話す・聞く能力	3	68.0	71.9	72.4
	書く能力	4	55.5	60.1	60.8
	読む能力	4	68.7	71.9	72.1
	言語についての知識・理解・技能	1	34.0	40.7	41.4
問題形式	選択式	5	76.4	79.2	79.6
	短答式	1	82.8	83.8	84.1
	記述式	3	49.6	55.2	55.9

○学習指導要領の領域別（4領域から出題）では、全領域で全国を下回っている。

○問題形式別では、「選択式」「短答式」「記述式」ともに全国を下回っている。

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	評価の観点				問題形式			正答率(%)				無解答率(%)			
			国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	網走市	全国との比較	北海道(公立)	全国(公立)	網走市	北海道(公立)	全国(公立)
正答率が高かった問題(上位3問)																	
1一	本の紹介カードに書かれている登場人物の様子が具体的に表現されている箇所として適切なものを選択する	登場人物の言動の意味を考え、内容を理解する				○		○			84.5	0.4	84.6	84.1	0.0	0.1	0.1
1二	地の文にある言葉を発した人物を文章の中から抜き出す	場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容を理解する				○			○		82.8	-1.3	83.8	84.1	5.5	5.0	5.3
2一	スピーチの中で実演を行った意図として適切なものを選択する	目的に応じて資料を効果的に活用して話す		○				○			82.5	-2.9	84.9	85.4	0.7	0.2	0.2
正答率が低かった問題(下位3問)																	
3三	アンケートをとる対象と質問内容、その質問についての回答を基にした内容を選択することと興味をもってもらえたと考えた理由を書く	必要な情報を集めるための見通しをもつ	○		○					○	61.2	-7.6	67.2	68.8	13.4	8.8	7.4
2三	スピーチの内容を聞き手からの意見に基づいて直す	相手の反応を踏まえながら、事実や事柄が相手に分かりやすく伝わるように工夫して話す	○	○	○					○	53.6	-4.0	57.5	57.6	11.0	7.2	5.8
1三	比喩を用いた表現に着目し、感じたことや考えたことを書く	表現の仕方について捉え、自分の考えを書く	○		○	○	○			○	34.0	-7.4	40.7	41.4	22.3	18.1	14.3

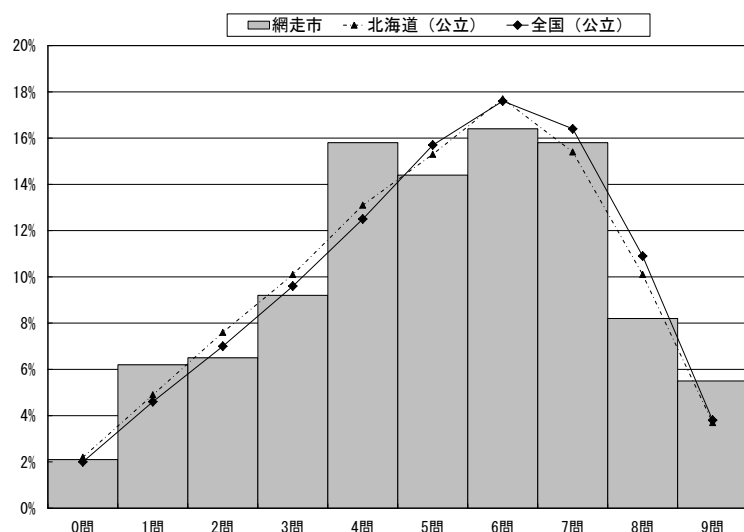
【問題別結果の概要】

正答率が全国平均を上回った問題は9問中1問

《○概ねできている▲改善を要する》

- 登場人物の言動の意味を考え、内容を理解する
- 場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容を理解する
- ▲表現の仕方について捉え、自分の考えを書く
- ▲必要な情報を集めるための見通しをもつ

【正答数分布グラフ(横軸:正答数, 縦軸:割合)】



○ 中学校数学A

分類	区分	問題数	平均正答率(%)		
			網走市	北海道(公立)	全国(公立)
	全体	36	59.0	63.7	64.6
学習指導要領の領域	数と式	12	63.6	68.1	70.4
	図形	12	62.4	66.4	66.0
	関数	8	50.3	56.9	57.4
	資料の活用	4	52.2	56.0	57.6
評価の観点	数学的な技能	20	61.9	66.4	68.2
	数量や図形などについての知識・理解	16	55.4	60.3	60.2
問題形式	選択式	13	61.9	66.8	66.8
	短答式	23	57.3	61.9	63.4

○学習指導要領の領域別(4領域から出題)では、全領域で全国を下回っている。

○問題形式別では、「選択式」「短答式」とともに全国を下回っている。

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	評価の観点			問題形式			正答率(%)				無解答率(%)				
			数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解	数量や図形などについての選択式	短答式	記述式	網走市	全国との比較	北海道(公立)	全国(公立)	網走市	北海道(公立)	全国(公立)	
正答率が高かった問題(上位3問)																	
4(2)	△ABCを、点Aから点Pに移すように平行移動した図形をかく	平行移動した図形をかくことができる			○			○		93.1	2.5	90.6	90.6	1.0	2.1	2.5	
1(4)	3月25日を基準にして3月23日を負の数で表す	実生活の場面において、ある数量が正の数と負の数で表されることを理解している					○		○	88.3	-1.1	87.6	89.4	2.4	3.0	2.8	
5(2)	1回転させると円錐ができる平面図形として正しいものを選ぶ	円錐が回転体としてどのように構成されているかを理解している					○	○		82.5	-7.6	89.2	90.1	0.3	0.3	0.4	
正答率が低かった問題(下位3問)																	
14(1)	反復横とびの記録の範囲を求める	範囲の意味を理解している					○		○		22.3	-6.3	25.7	28.6	14.8	11.3	9.6
10(3)	反比例の表から比例定数を求める	与えられた反比例の表において、比例定数の意味を理解している						○		○	20.3	-14.1	34.4	34.4	26.1	21.2	20.8
9	長方形の縦の長ささと面積の関係を、「…は…の関数である」という形で表現する	関数の意味を理解している						○		○	17.9	-2.7	20.1	20.6	27.8	22.1	20.6

【問題別結果の概要】

正答率が全国平均を上回った問題は36問中4問

《○概ねできている▲改善を要する》

○平行移動した図形をかくことができる

○実生活の場面において、ある数量が正の数と負の数で表されることを理解している

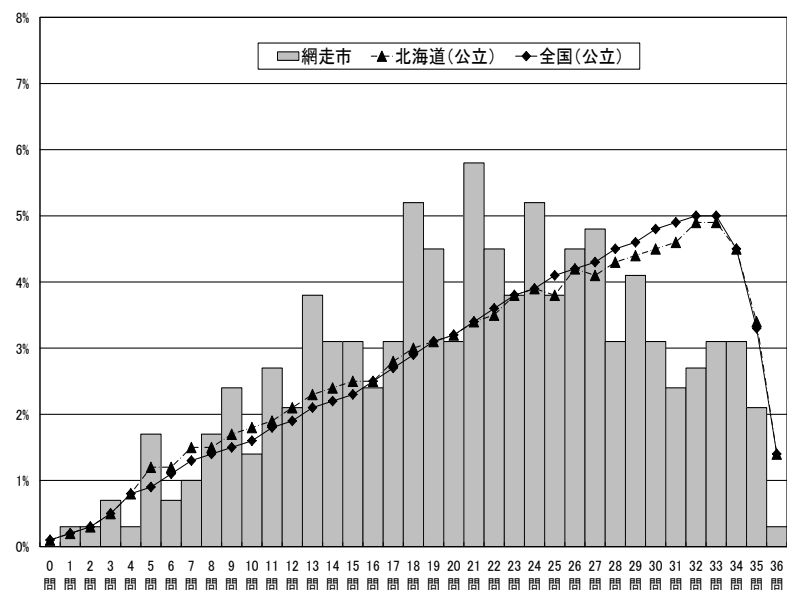
▲関数の意味を理解している

▲与えられた反比例の表において、比例定数の意味を理解している

▲等式を目的に応じて変形することができる

▲範囲の意味を理解している

【正答数分布グラフ(横軸:正答数 縦軸:割合)】



○ 中学校数学B

分類	区分	問題数	平均正答率(%)		
			網走市	北海道（公立）	全国（公立）
	全体	15	42.4	46.9	48.1
学習指導要領の領域	数と式	3	41.7	44.9	46.3
	図形	6	39.3	46.0	47.1
	関数	3	47.4	50.8	50.8
	資料の活用	3	44.4	46.8	49.1
評価の観点	数学的な見方や考え方	10	30.8	35.2	36.8
	数学的な技能	3	55.8	61.4	61.2
	数量や図形などについての知識・理解	2	80.4	83.4	85.1
問題形式	選択式	4	50.9	53.1	53.8
	短答式	6	60.5	65.6	66.3
	記述式	5	14.0	19.5	21.7

○学習指導要領の領域別(4領域から出題)では、全領域で全国を下回っている。

○問題形式別では、「選択式」「短答式」「記述式」ともに全国を下回っている。

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	評価の観点			問題形式			正答率(%)				無解答率(%)			
			数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解	数量や図形などについての選択式	短答式	記述式	網走市	全国との比較	北海道(公立)	全国(公立)	網走市	北海道(公立)	全国(公立)
正答率が高かった問題(上位3問)																
3(1)	与えられた表やグラフから、5月31日から4日経過したときに貯水量が2820万m ³ であったことを表す点を求める	与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができる				○		○		89.3	-1.5	90.0	90.8	5.2	3.7	3.5
2(1)	六角形を5個つくるのに必要なストローの本数を求める	問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる				○			○	79.7	-0.7	79.3	80.4	1.4	1.3	1.3
5(1)	1週間の総運動時間が420分のとき、含まれる階級の度数を求める	資料から必要な情報を適切に読み取ることができる				○		○		71.5	-7.8	76.8	79.3	8.2	7.4	5.9
正答率が低かった問題(下位3問)																
5(3)	「420分未満より420分以上の女子の方が合計点が高い傾向にある」と主張できる理由を、グラフの特徴を基に説明する	資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる			○				○	10.7	-6.9	13.9	17.6	38.8	36.0	31.2
2(3)	六角形を n 個つくるのに必要なストローの本数を、 $6+5(n-1)$ という式で求めることができる理由を説明する	事象と式の対応を的確に捉え、事柄が成り立つ理由を説明することができる			○				○	10.3	-4.2	13.0	14.5	34.4	28.1	23.4
1(2)	四角形ABCDの模様が1回の回転移動によって四角形BEFGの模様と重なるとき、どのような回転移動になるかを説明する	2つの図形の関係を回転移動に着目して捉え、数学的な表現を用いて説明することができる			○				○	5.8	-8.2	13.1	14.0	25.4	19.9	17.7

【問題別結果の概要】

正答率が全国平均を上回った問題は15問中1問

《○概ねできている▲改善を要する》

○与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができる

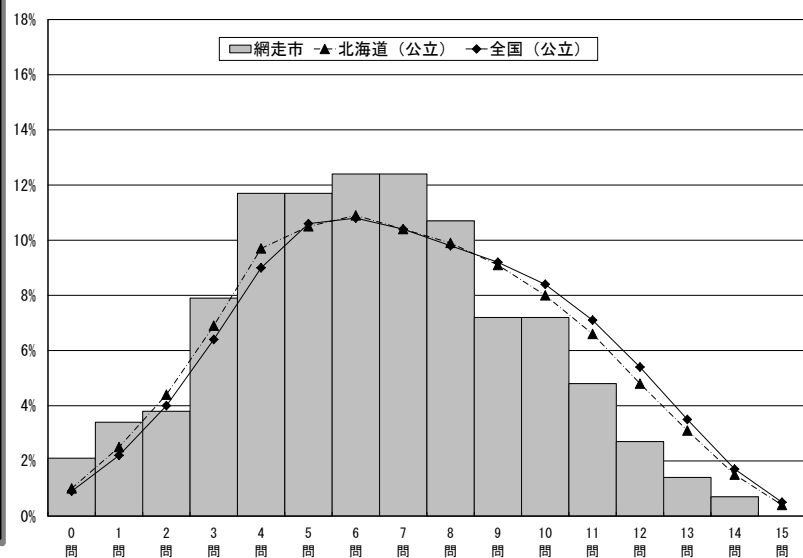
○問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる

▲2つの図形の関係を回転移動に着目して捉え、数学的な表現を用いて説明することができる

▲資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる

▲筋道を立てて考え、証明することができる

【正答数分布グラフ(横軸:正答数,縦軸:割合)】

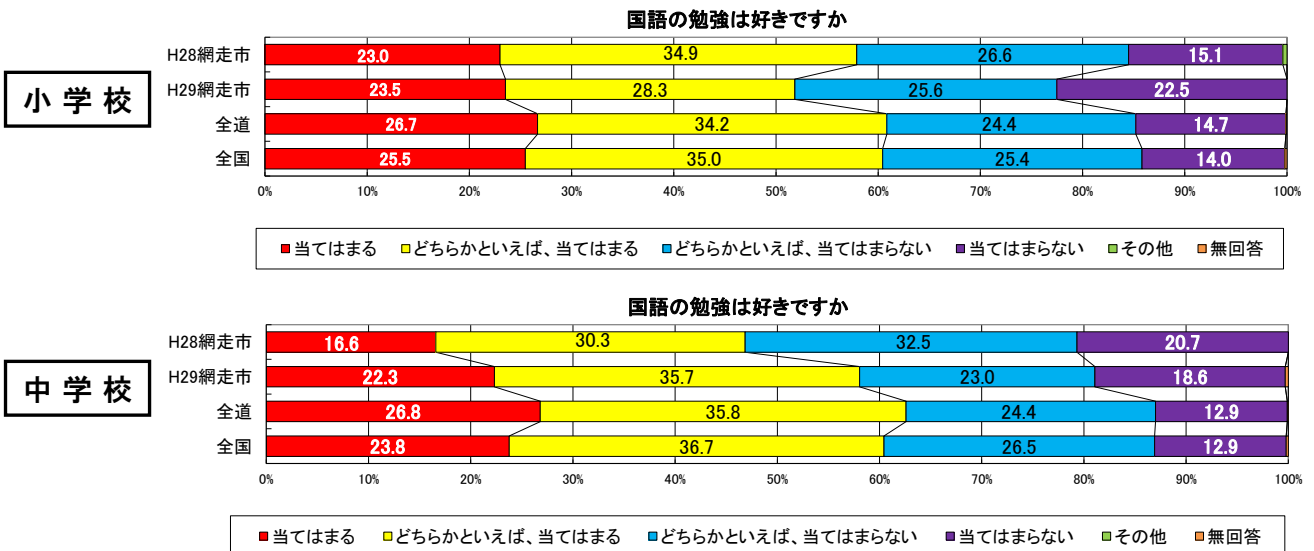


4. 質問紙調査

(1) ≪学習（国語）に対する関心・意欲・態度≫

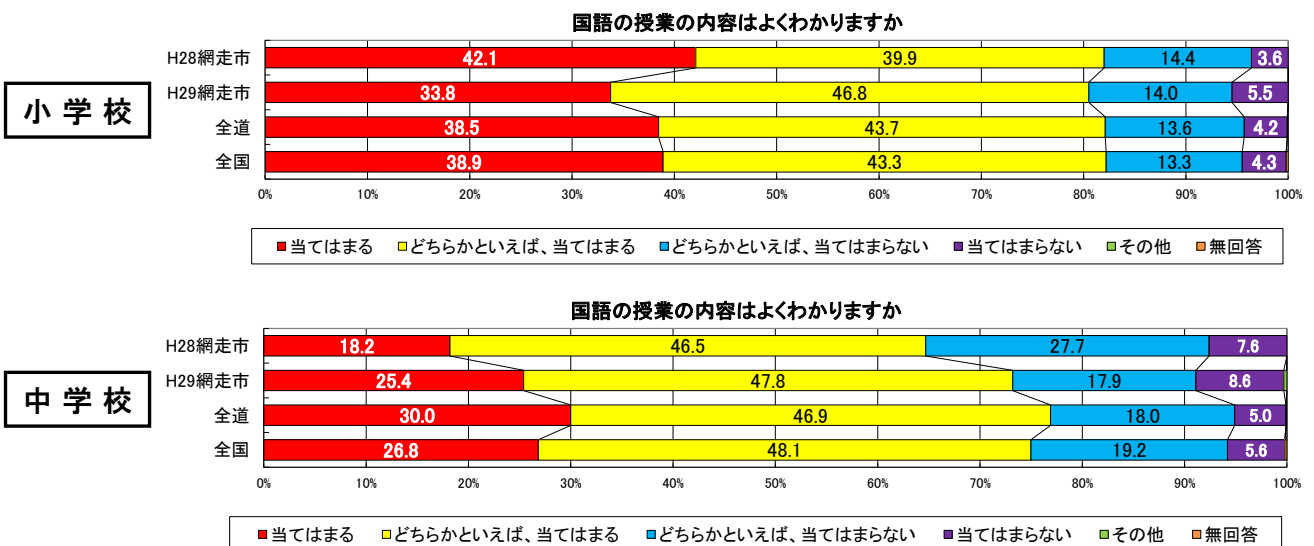
○「国語の勉強は好きですか」

「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」と回答している割合は、小学校51.8ポイント、中学校58.0ポイントで、全国と比較し小学校で8.7ポイント、中学校で2.5ポイント低い。



○「国語の授業の内容はよくわかりますか」

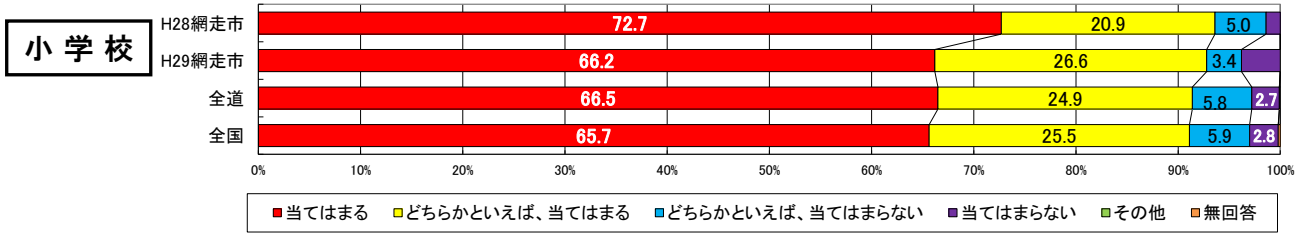
「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」と回答している割合は、小学校80.6ポイント、中学校73.2ポイントで、全国と比較し小学校で1.6ポイント、中学校で1.7ポイント低い。



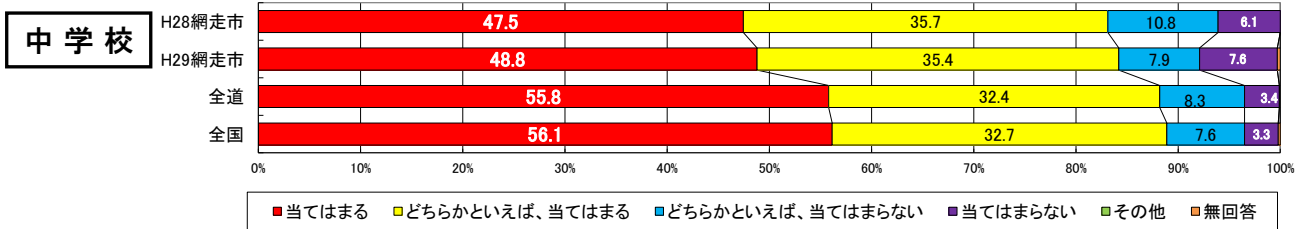
○「国語の勉強は大切だと思いますか」

「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」と回答している割合は、小学校92.8ポイント、中学校84.2ポイントで、全国と比較し小学校で1.6ポイント高く、中学校で4.6ポイント低い。

国語の勉強は大切だと思いますか



国語の勉強は大切だと思いますか

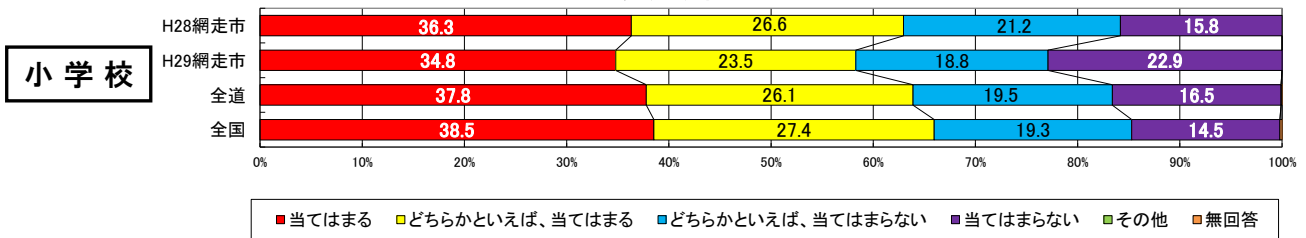


(2) <<学習（算数・数学）に対する関心・意欲・態度>>

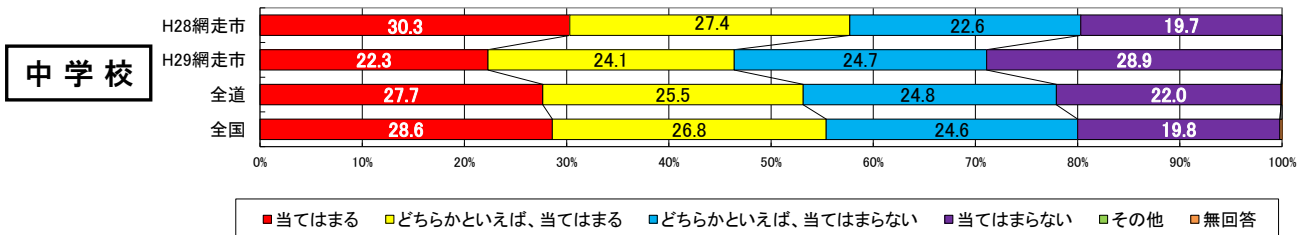
○「算数・数学の勉強は好きですか」

「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」と回答している割合は、小学校58.3ポイント、中学校46.4ポイントで、全国と比較し小学校で7.6ポイント、中学校で9.0ポイント低い。

算数の勉強は好きですか



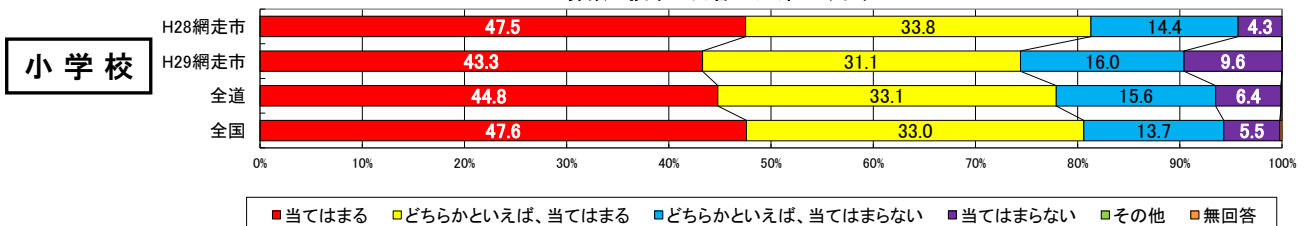
数学の勉強は好きですか

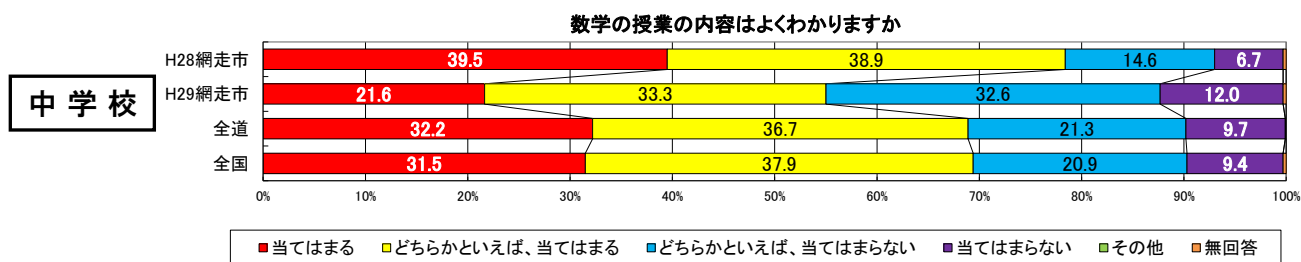


○「算数・数学の授業の内容はよくわかりますか」

「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」と回答している割合は、小学校74.4ポイント、中学校54.9ポイントで、全国と比較し小学校で6.2ポイント、中学校で14.5ポイント低い。

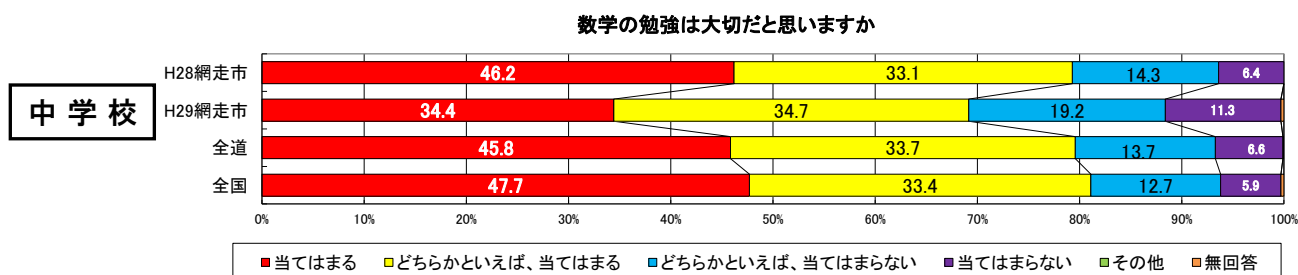
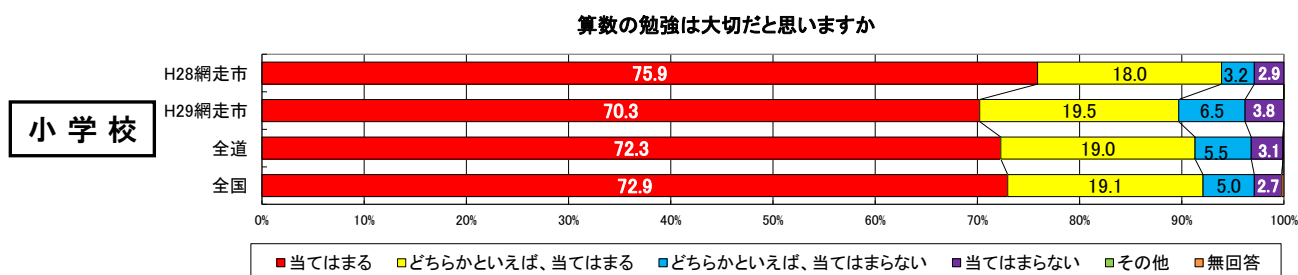
算数の授業の内容はよくわかりますか





○「算数・数学の勉強は大切だと思いますか」

「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」と回答している割合は、小学校89.8ポイント、中学校69.1ポイントで、全国と比較し小学校で2.2ポイント、中学校で12.0ポイント低い。



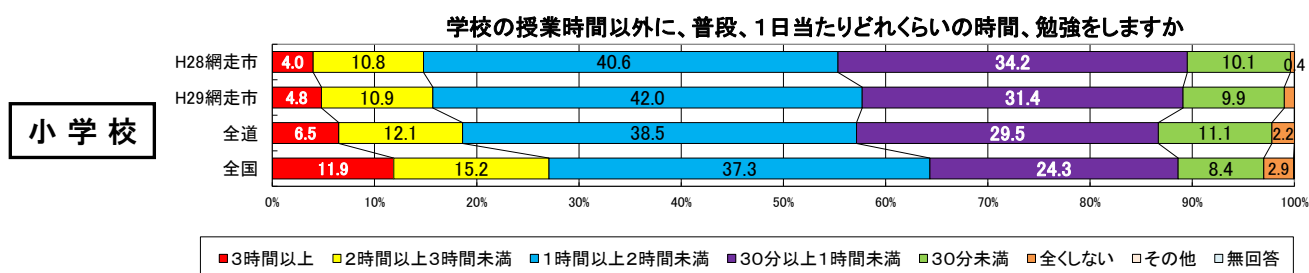
(3) ≪家庭での学習習慣≫

○「学校の授業時間以外に、普段、1日当たり1時間以上勉強している」は、小学校、中学校ともに全国より低い傾向を示している。

○小学校は、「自分で計画を立てて勉強している」「学校の予習・復習をしている」で全国よりやや高い傾向を示している。

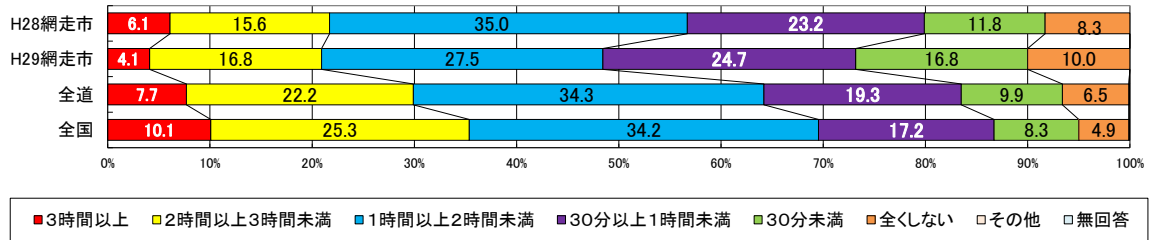
○中学校は、「学校の復習をしている」に比べ、「学校の予習をしている」が全国より低い傾向を示している。

○「学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」



中 学 校

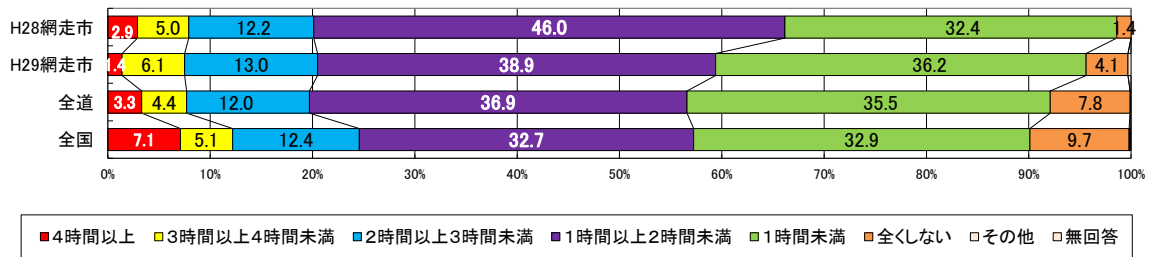
学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか



○「休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」

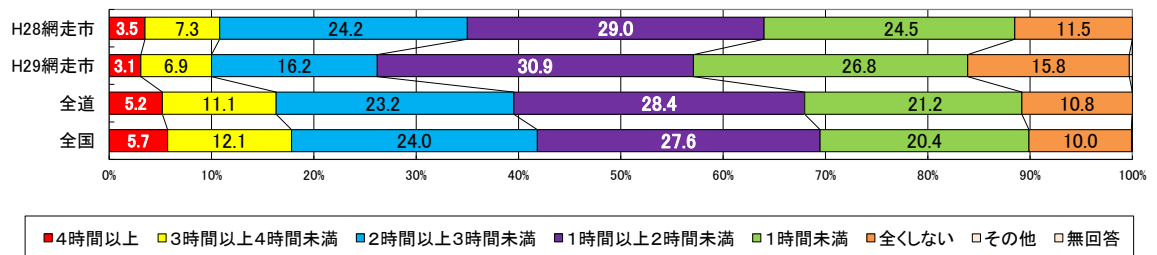
小 学 校

休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか



中 学 校

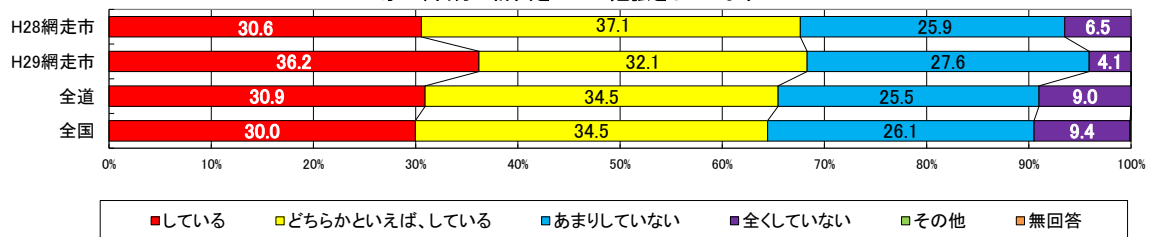
休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか



○「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか」

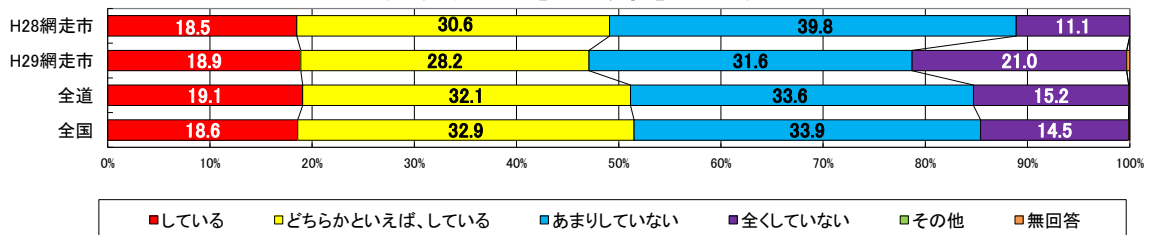
小 学 校

家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか

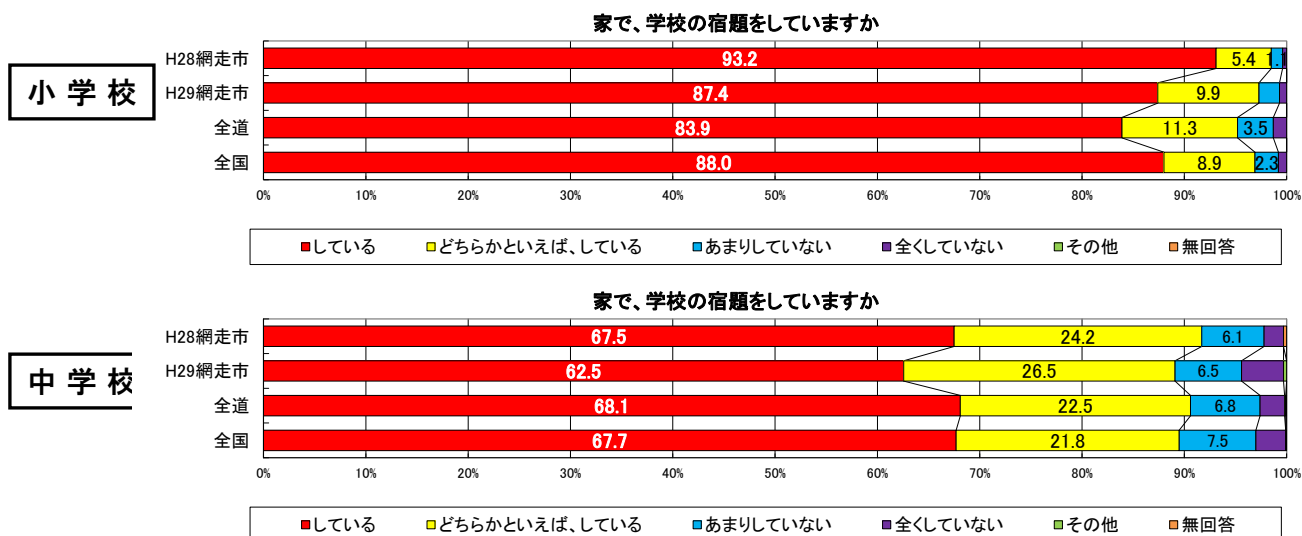


中 学 校

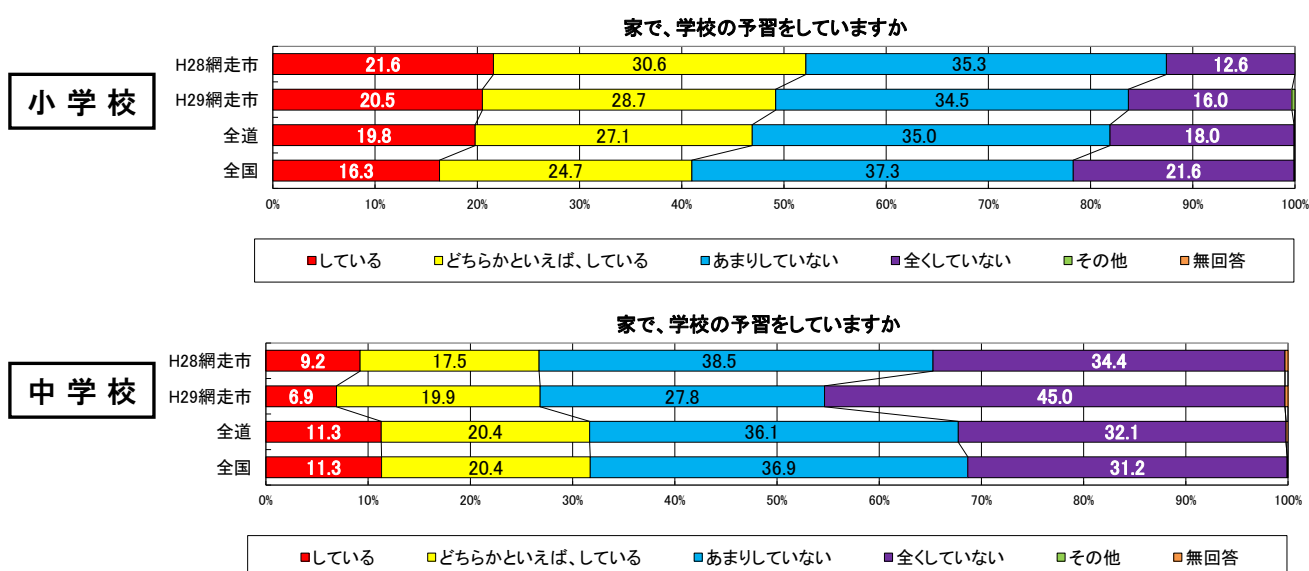
家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか



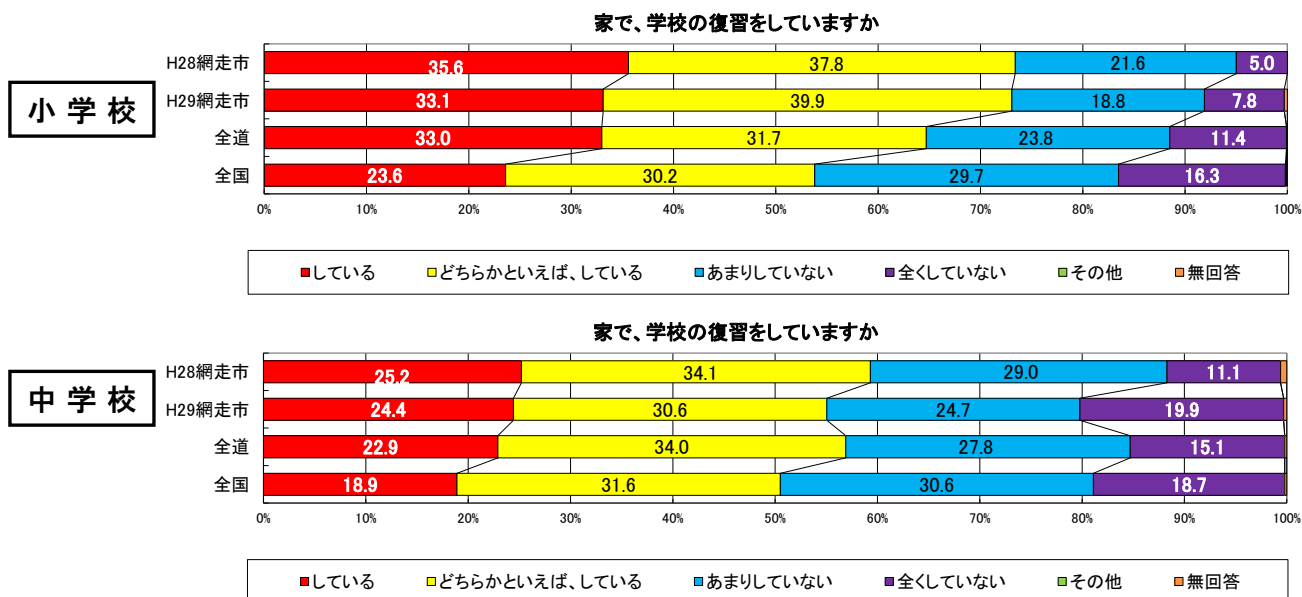
○「家で、学校の宿題をしていますか」



○「家で、学校の予習をしていますか」



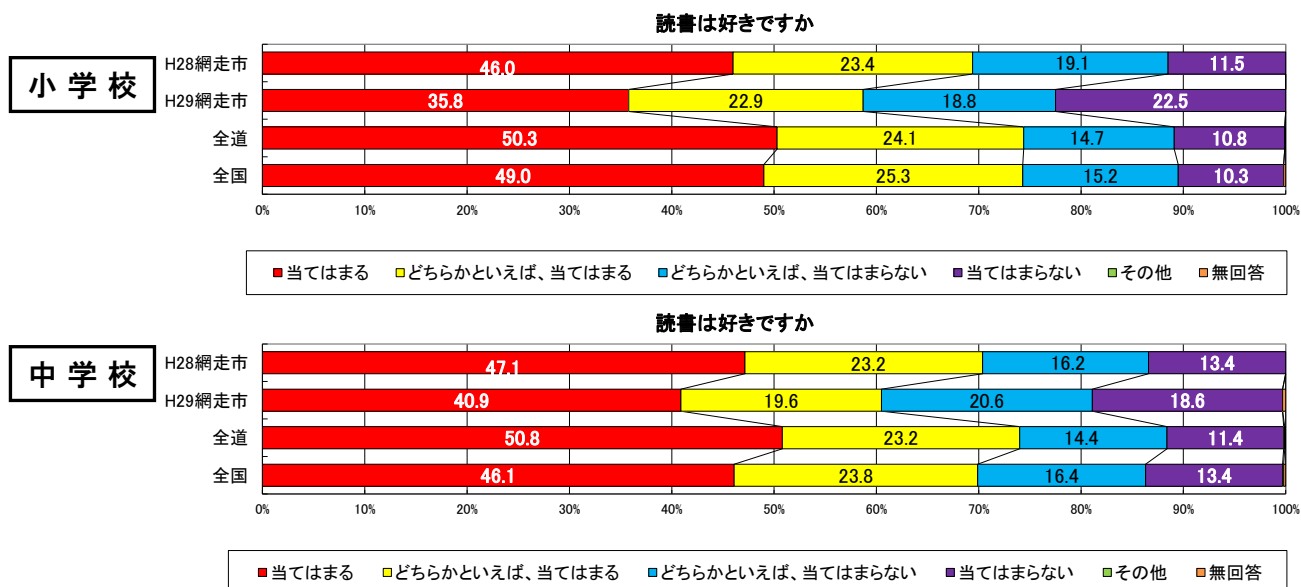
○「家で、学校の復習をしていますか」



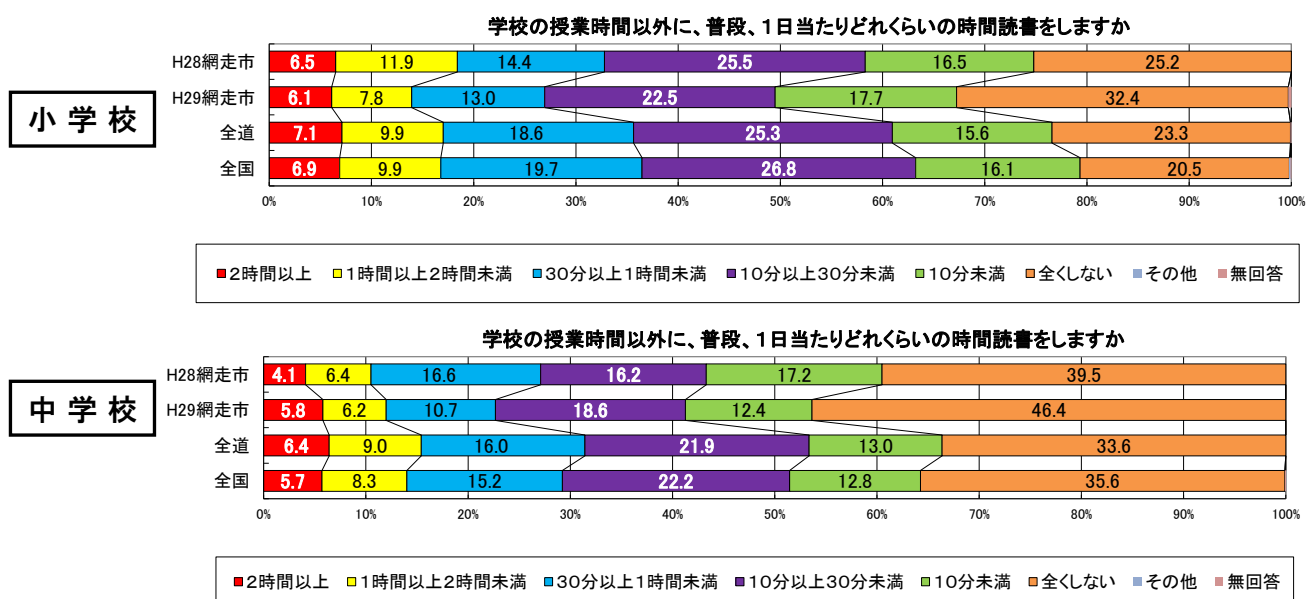
(4) <<読書習慣>>

- 「読書が好き」は、小学校、中学校ともに全国より低い傾向を示している。
- 「学校の授業時間以外で読書をする時間」は、小学校、中学校ともに全国より低い（読書時間が短い）傾向を示している。

○「読書は好きですか」



○「学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間読書をしますか」

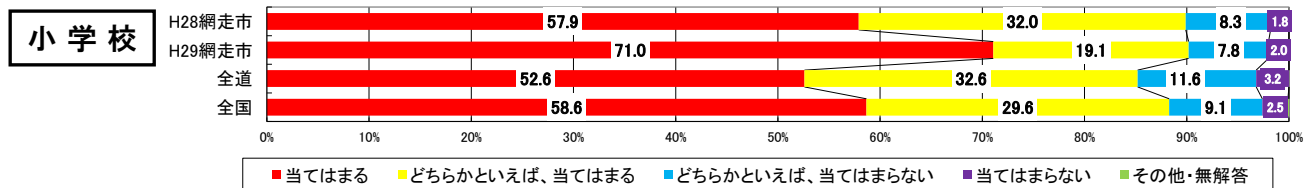


(5) <<学習指導>>

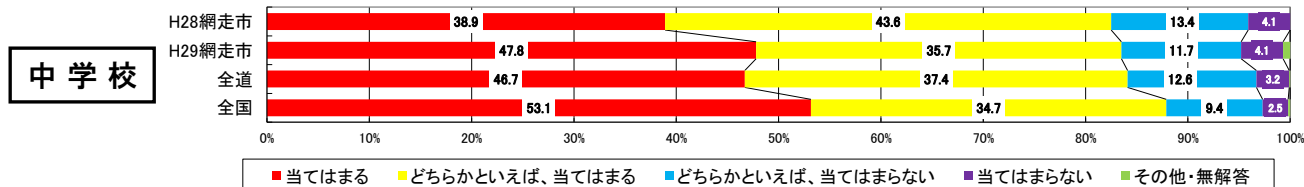
- 「授業の中で目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか」は、小学校で全国より高く、中学校で全国とほぼ同様の傾向を示している。
- 「授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか」は、小学校で全国よりやや高く、中学校で全国より低い傾向を示している。
- 「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」は、小学校で全国とほぼ同様、中学校で全国より低い傾向を示している。

○「授業の中で目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか」

5年生までに受けた授業の中で目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか

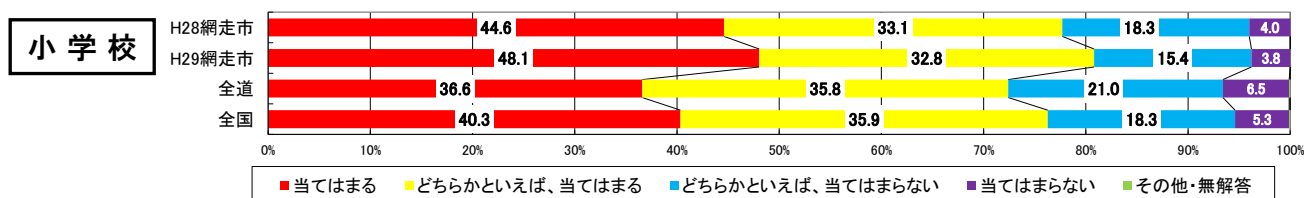


1, 2年生のときに受けた授業の中で目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか

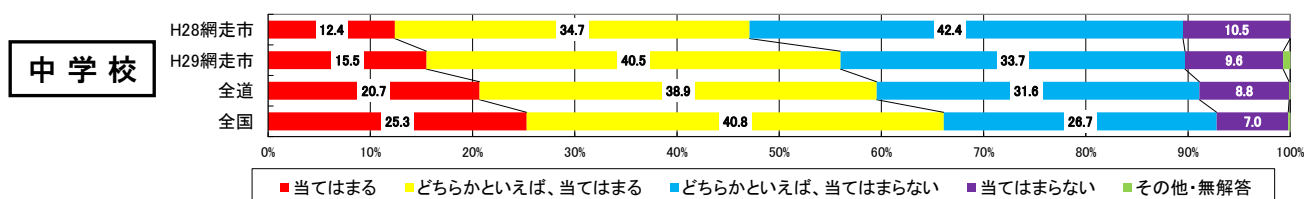


○「授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか」

5年生までに受けた授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか

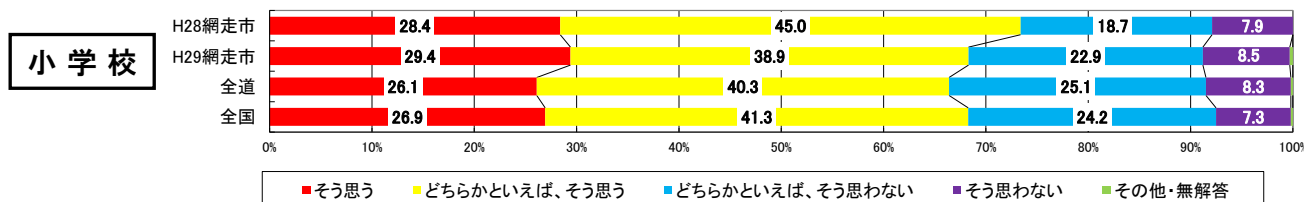


1, 2年生のときに受けた授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか

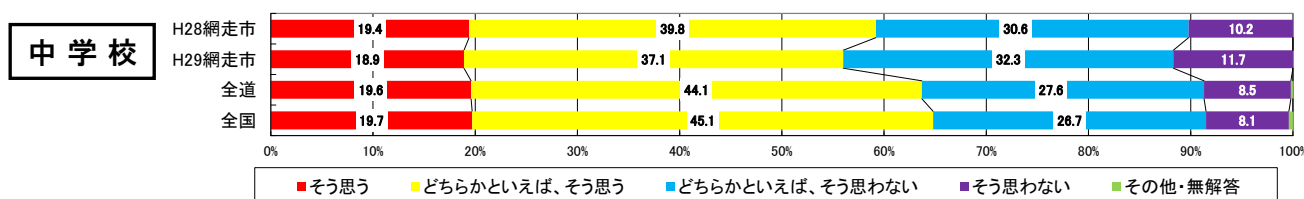


○「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか



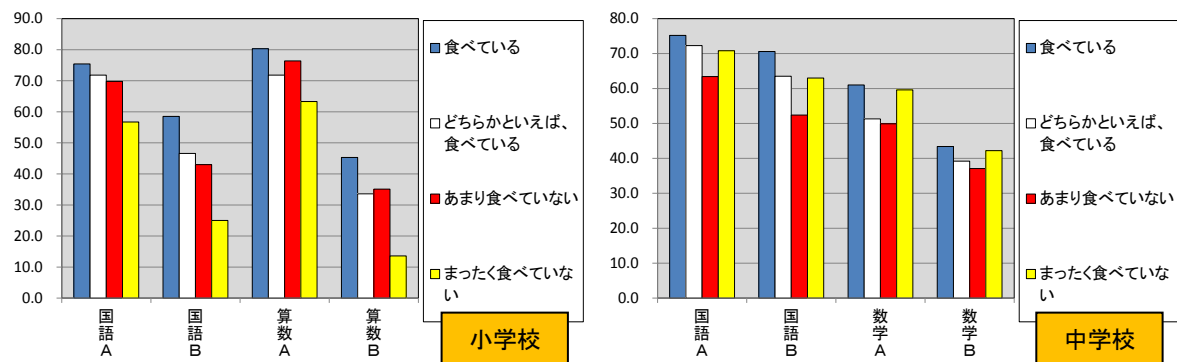
生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか



5. 質問紙調査と平均正答率の相関

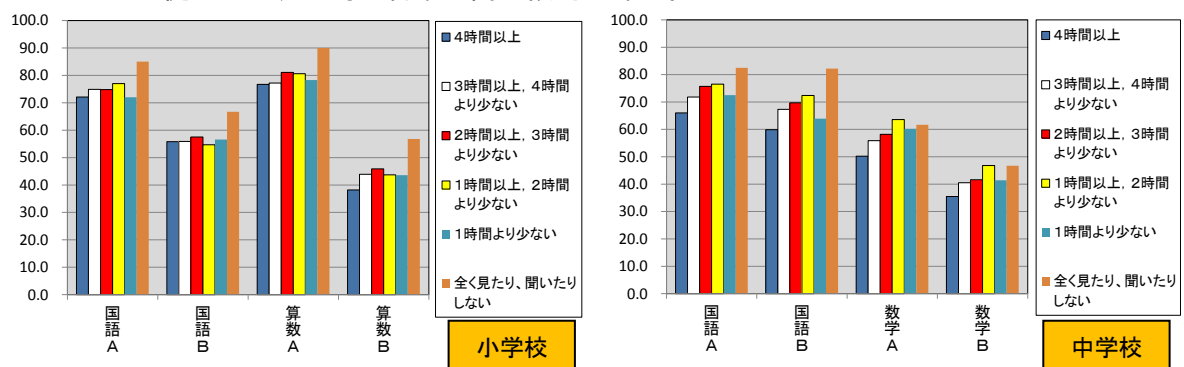
(1) 「朝食を毎日食べている」と正答率の相関

「食べている」「どちらかといえば、食べている」と回答した児童生徒の方が「あまり食べていない」「まったく食べていない」と回答した児童生徒に比べ、平均正答率が高い傾向にある。



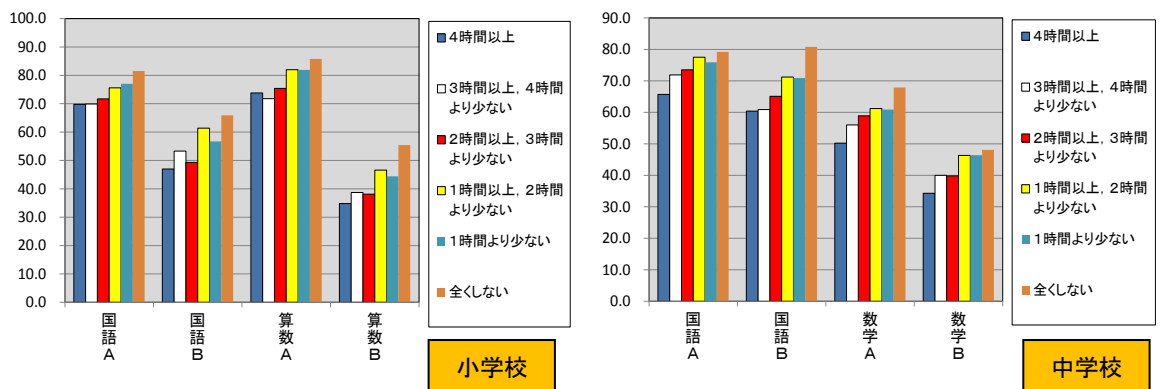
(2) 「普段（月～金曜日）1日当たりのテレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりする時間」と正答率の相関

「テレビ等を視聴する時間が短い」児童生徒は、「テレビ等を視聴する時間が長い」児童生徒に比べ、平均正答率が高い傾向にある。



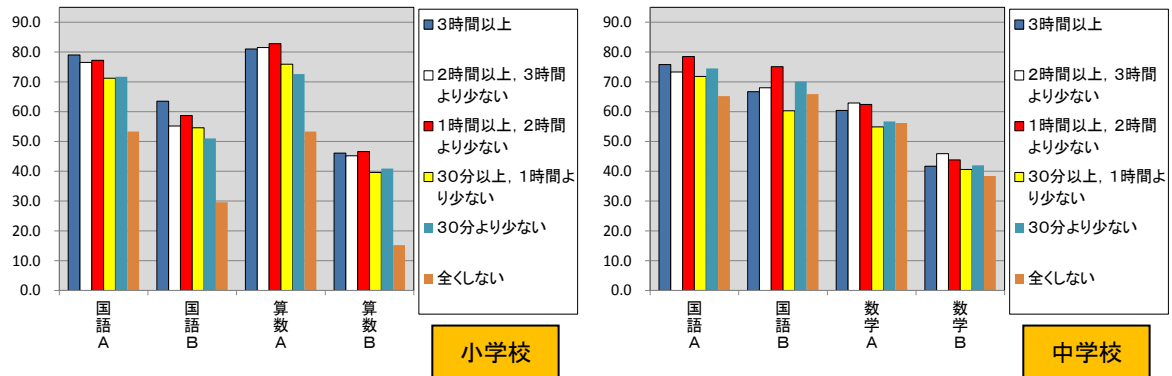
(3) 「普段（月～金曜日）1日当たりのゲームをする時間」と正答率の相関

「ゲームをする時間が短い」児童生徒の方が、「ゲームをする時間が長い」児童生徒に比べ、平均正答率が高い傾向にある。



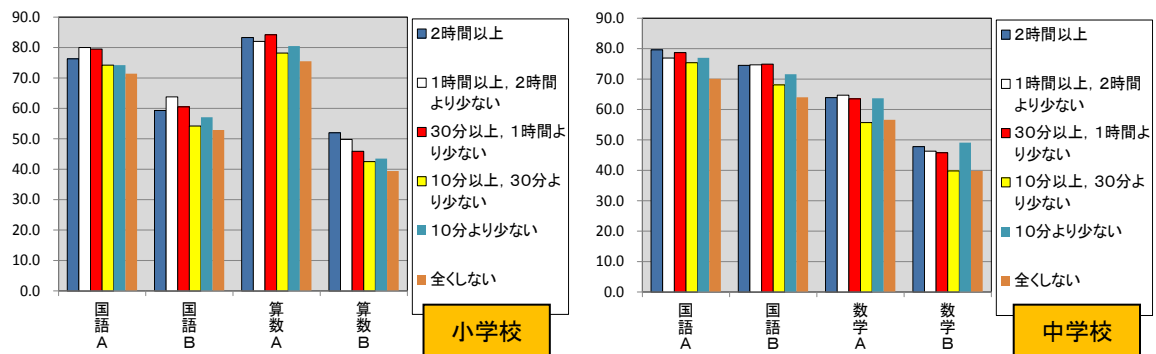
(4)「学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）1日当たりどれぐらいの時間、勉強をしているか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）」と正答率の相関

「学校の授業時間以外に勉強をする時間が長い」児童生徒の方が、「学校の授業時間以外に勉強をする時間が短い」児童生徒に比べ、平均正答率が高い傾向にある。



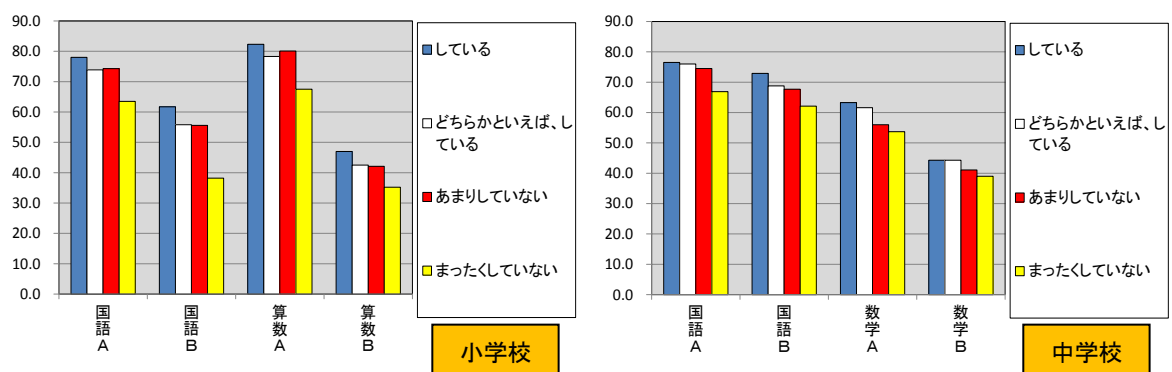
(5)「学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）1日当たりどれぐらいの時間、読書をしているか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）」と正答率の相関

「読書をする時間が長い」児童生徒は、「読書をする時間が短い」児童生徒に比べ、平均正答率が高い傾向にある。



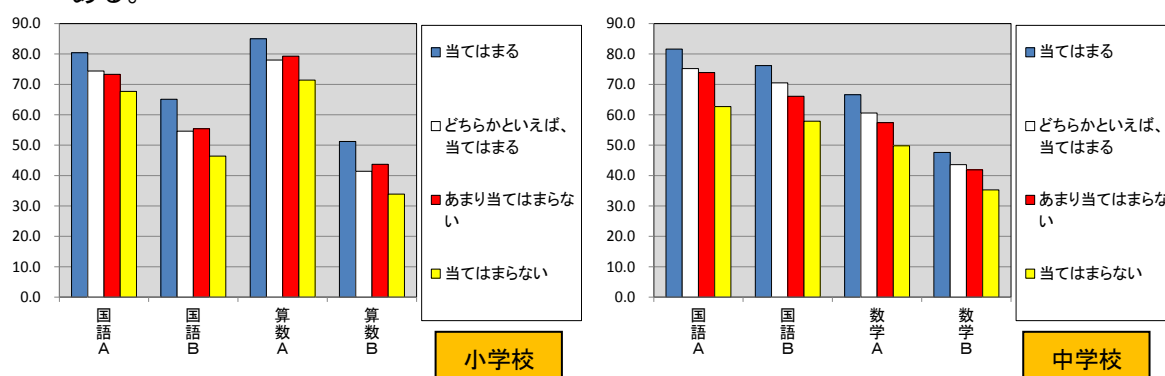
(6)「家で、学校の授業の復習をしている」と正答率の相関

「している」「どちらかといえばしている」と回答した児童生徒は、「あまりしていない」「全くしていない」と回答した児童生徒に比べ、平均正答率が高い傾向にある。



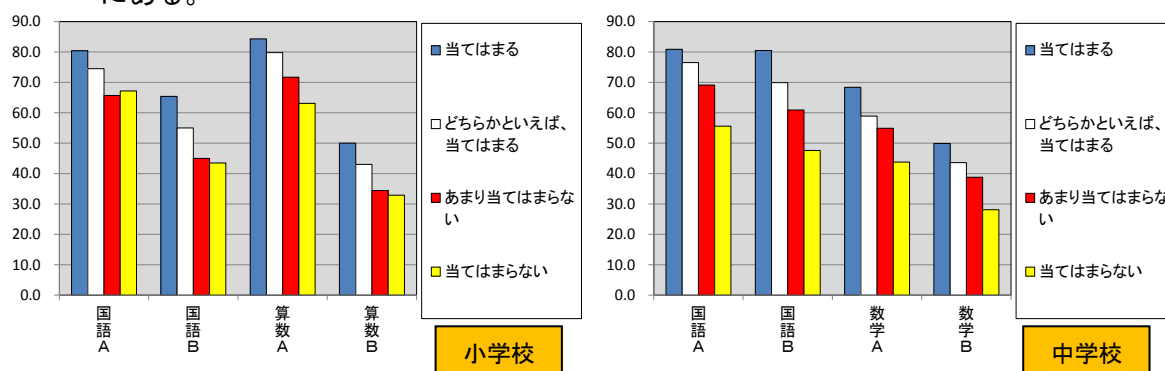
(7) 「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心があるか」と正答率の相関

「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒は、「あまりあてはまらない」「当てはまらない」と回答した児童生徒に比べ、平均正答率が高い傾向にある。



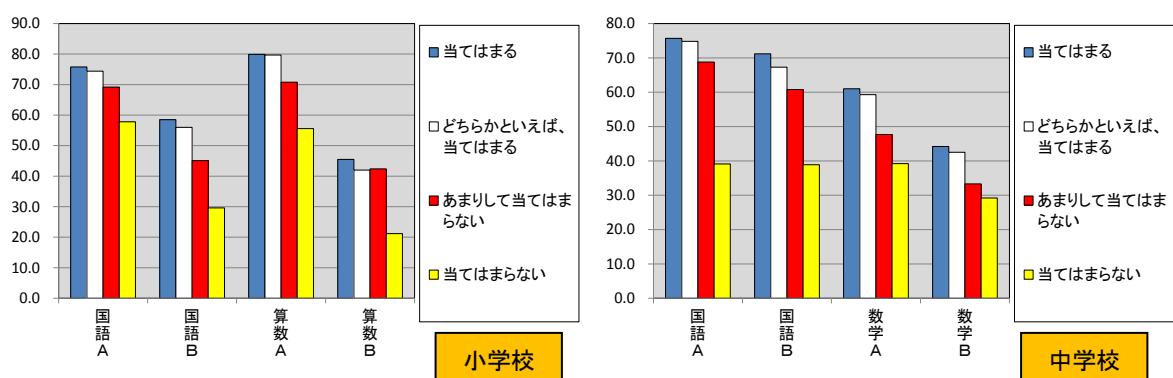
(8) 『総合的な学習の時間』では、自分で課題を立てて情報を整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる」と正答率の相関

「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒は、「あまりあてはまらない」「当てはまらない」と回答した児童生徒に比べ、平均正答率が高い傾向にある。



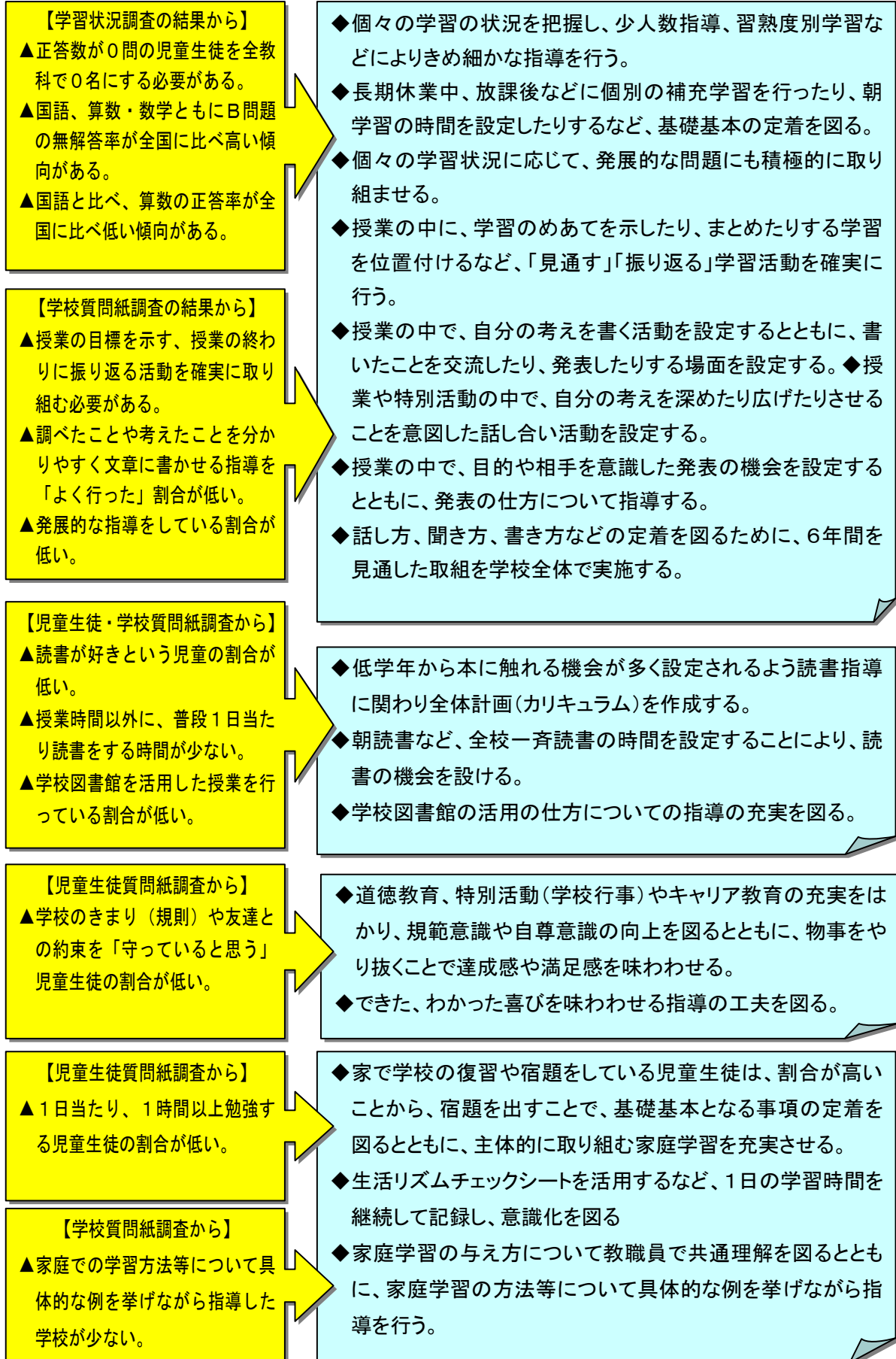
(9) 「きまり（規則）を守っている」と正答率の相関

「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒は、「あまりあてはまらない」「当てはまらない」と回答した児童生徒に比べ、平均正答率が高い傾向にある。



6. 調査結果における課題と改善のポイント

(1) 学校での組織的な取組〔▲改善を要する点 ◆改善のポイント〕



(2) 家庭での取組

【児童生徒質問紙調査から】

- ▲1日当たり、1時間以上勉強する児童生徒の割合が少ない。
- ▲「1日に2時間以上ゲームをする」「1日に2時間以上携帯電話やスマートフォンをする」児童生徒の割合が高い。
- ▲授業時間以外に、普段1日当たり読書をする時間が少ない。
- ▲「自分にはよいところがある」と回答する生徒の割合を高めていく必要がある。
- ▲地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある、地域のボランティア活動に参加したことがある児童生徒の割合が低い。
- ▲学校のきまり（規則）を守っていると思う児童生徒の割合が低い。

①子どもの生活リズムを整えましょう

- 生活リズムチェックシートを活用し、子どもが自ら生活を記録する習慣化を図りましょう。
- 朝起きる時間、夜寝る時間が不規則にならないようにしましょう。朝ごはんは、しっかり食べてきましょう。（早寝早起き朝ごはん）

②家庭でのルールや目安を決め、しっかり守るよう子どもと約束をしましょう。

- 家庭学習は、1日【小学校】学年×10分+10分、【中学校】学年×1時間+10分を目標に取り組みましょう。
- テレビ、DVD、ビデオの視聴時間、テレビゲーム（携帯式ゲーム）の時間を少なくしましょう。
- 家庭で読書をする時間を設けましょう。
- 携帯電話（スマートフォン）、SNS、メール、インターネットなどは、使用できる時間などきまりを設けましょう。

③家の中に、勉強ができる環境を作りましょう。

- 新聞やニュースを見る、地図や地球儀を身近に準備するなど、社会に興味を持たせるような準備をしましょう。

④学校での出来事について話を聞く時間を作りましょう。励ましやほめることを大切にしましょう。

⑤地域の行事へ参加させたり、図書館、社会教育施設を積極的に活用させたり、網走のよさにふれる時間をつくりましょう。

■ 全国より高い傾向を示した項目 ■

- ◎将来の夢や目標を持っている。（中学校）
- ◎学校で好きな授業がある。（中学校）
- ◎家の人と学校での出来事について話をする。（中学校）
- ◎家の人と将来のことについて話すことがある。（中学校）
- ◎友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができる。（小学校）
- ◎週に1～3回以上新聞を読んでいる。（小学校）
- ◎話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う。（小学校）
- ◎家の人は授業参観や運動会などの学校行事に来る。（小・中学校）
- ◎地域の大人に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりすることがある。（小・中学校）

(3) 網走市教育委員会における学力向上の方策

この方策は、これまで網走市教育委員会が取り組んできたものをさらに推進・拡充させていくものと、新たに取り組むものです。

1 教職員の高い指導力を備えるための研究・研修の充実を図ります。

- (1) 北海道立教育研究所や網走地方教育研修センター等の受講促進、先進地視察研修、公開研究会への参加、オホーツク管内教育研究団体への加入の促進を図ります。
- (2) 市内すべての学校で公開研究会を実施するとともに網走市学校教育研究実践事業により公開研究会の開催を支援します。
- (3) 教職員の授業力向上のため、北海道教育庁指導主事の学校教育指導を複数回要請し、特設授業や研究協議の充実を図ります。
- (4) 網走市教育委員会主催の初任者研修、主幹教諭研修、体育実技研修、ICT活用研修、外国語指導法研修などを開催し、教職員の指導力向上を図ります。
- (5) 「学校力向上に関する総合実践事業」実践指定校、近隣実践校の取組を支援するとともに、効果のある実践指定校の取組を普及させ、教職員の資質の向上を図ります。
- (6) 読書指導や家庭学習習慣の定着に成果を上げている学校の取組を網走市学力向上推進委員会の中で共有し、各学校における具体的な取組の改善を図ります。

2 子どもの学びを支える教育環境の整備を図ります。

- (1) 学ぶ意欲を高めるタブレット型端末や、子どもにより分かりやすく伝える実物投影機など、ICT機器の活用を促進するとともに、ICT機器活用に関わる研修会を開催します。
- (2) 学校図書司書の配置や学校図書の整備など、読書環境の改善や、学校図書館機能の充実を図ります。

3 子どもたちに自ら学ぶ意欲をはぐくみ、確かな学力の定着を図ります。

- (1) 子どもたちに基礎的・基本的な学力の定着を図るため、長期休業中や放課後の補充学習の充実、少人数指導や習熟度別学習、学習支援員などによる、きめ細かな学習を推進します。
- (2) 子どもたち一人一人の理解を深めるため、学力状況を把握する標準学力検査や、学校での適応感を把握する検査の活用を促進します。
- (3) 「網走市学力向上フォーラム」の開催や、先進地への視察研修など、網走市学力向上推進委員会の活動を支援します。
- (4) 「全校共通指導事項」の徹底を図るなど、学習規律の定着を図ります。
- (5) 家庭での学習習慣確立のために、学校・家庭・地域が連携し、家庭学習の習慣化やテレビ・ゲームの時間の見直しなど、「生活リズムチェックシート」の積極的な活用を図ります。
- (6) 小学校から中学校への円滑な接続、中1ギャップ未然防止のために、中学校校区を中心とした小中連携を推進します。
- (7) 東京農業大学との連携による、「長期休業中の学習サポート」「土曜学習サポート（あばしり寺子屋）」を推進します。

4 学力の基礎となる体力向上を図ります。

- (1) 心身ともに健康な子どもを育成するために、保護者、地域とともに、「早寝・早起き・朝ごはん」など望ましい生活習慣の定着、運動に慣れ親しむ機会を作るなど体力向上の取組を推進します。
- (2) スポーツ合宿団体によるラグビー教室などのスポーツ教室を開催します。また、教育長杯ラグビー大会や、オホーツク網走マラソンなどの各種スポーツ大会への参加促進を図ります。
- (3) 1時間の授業の中でできるだけ運動する時間を確保したり、互いに教え合う活動を取り入れたりするなど、楽しく達成感が味わえる体育の授業の充実を図ります。
- (4) 日本体育大学との連携による、「子ども体力づくりサポート」や「体育授業改善研修会」を実施します。

5 特別支援教育の充実を図ります。

- (1) 特別支援教育支援員などの人的支援の充実や関係機関との連携を図ります。
- (2) 教職員や保護者の特別支援に対する理解を深めるため、研修会の実施、教育相談体制の充実を図ります。

6 思いやりを大切に、豊かな心や地域を愛する心を育みます。

- (1) 道徳教育推進校における教育講演会の開催、地域・保護者への積極的な道徳の時間の公開など、道徳教育の充実を図ります。
- (2) 「網走市子ども会議」を開催し、子どもが主体的に取り組むいじめ防止の取組を推進するなど、心の教育の充実を図ります。
- (3) 地域に対する愛着や関心を高めるために、地域を素材とした総合的な学習の時間、ふるさと教育、食育などの充実を図ります。
- (4) 「網走市読書感想文コンクール」の実施、家読（うちどく）や朝読書の充実、読み聞かせなどによる良書との出会い、市立図書館による「読書ノート」の積極的な活用により読書の充実を図ります。

7 地域、保護者との連携を図り、地域と共にある学校づくりを目指します。

- (1) 地域、保護者に開かれた学校を目指し、「オープンスクールウィーク」の実施や「網走市学校支援地域本部事業」によるボランティアの活用など、地域、保護者との連携を図ります。
- (2) 心身ともに健やかな子どもを育成するために、網走市PTA連合会と連携し、教育講演会、研修会を開催します。
- (3) ネットトラブルの未然防止を図るために、学習会を開催したり、使用のきまりを作成したりするなど、学校と保護者が連携した取組を推進します。